2027年3月期
第1四半期
決算説明資料

2026年8月4日

フジ・メディア・ホールディングス

© FUJI MEDIA HOLDINGS, INC. All Rights Reserved.

企業価値向上に向けたコーポレートガバナンスの取り組み

経営資源の配分

■取締役会の役割・責務として、成長投資に向けた取組の重要性を認識

□2026年5月に**新たな中期経営計画「Group Vision Ver1.0」を発表**
資本収益性向上を重視し、目標として2030年度にROE6%、メディア・コンテンツ事業の営業利益350億円＋αを設定。

□その実現に向けた向こう5年の**成長投資1,500億円**の計画も、あわせて発表
バリューチェーンを3領域に分け、各領域の投資枠と投資方針、目指す営業利益を示す。

□都市開発・観光事業への外部資本導入確定後の対応
導入の確定後に改めて Version 2.0を公表予定。Version 2.0 ではキャピタルアロケーションを含む資本政策の詳細、数値目標等のアップデート、Version 1.0 の進捗状況を反映する予定。

取締役会の機能強化

■取締役は独立社外取締役が過半数、「取締役会事務局」を新設、リスク管理体制を強化

□取締役11人中、過半数の6人が社外取締役
5月に発表した「Group Vision」の推進に向け、メディア・コンテンツ事業に集中し新たな成長を目指すために、メディアやコンテンツに専門的な知見のある方による構成へ。

□「取締役会事務局」を新設
取締役会の審議の活性化に向け、取締役を支援する重要な役割を果たすことを期待。

□リスク管理体制を強化
後述の通り、「リスクレジスター制」に基づく新たなリスク管理体制を構築。
その中で新たなリスクの整理や、危機発生時のエスカレーション体制の周知を徹底。

© FUJI MEDIA HOLDINGS, INC. All Rights Reserved.

企業価値向上に向けたコーポレートガバナンスの取り組み

有価証券報告書の定時株主総会前開示

■ **有価証券報告書を、第85回定時株主総会開催日前の6月24日に提出**

株主総会の開催時期を、従来から変更することなく同様としながら、
株主総会における権利行使にかかる適切な環境を整備すべく、
2026年3月期有価証券報告書を、株主総会の開催前に提出した。
今後はさらなる前倒しを目指すことを検討。

ステークホルダーとの適切な協働

■ **人的資本への投資や適切な分配、取引先との公正・適正な取引を推進**

□人的資本へ150億円投資

「Group Vision」で人的資本戦略として「IPバリューチェーンを一気通貫で推進できる人材基盤への戦略投資」を行うことを表明。
IPバリューチェーン全体での事業運営を推進する体制を整備し、成長投資の実行力と成果創出力を高めるために、重点投資領域の中核人材獲得・育成を中心に150億円の投資を決定。

© FUJI MEDIA HOLDINGS, INC. All Rights Reserved.

都市開発・観光事業への外部資本導入の検討状況について

■メディア・コンテンツと都市開発・観光の**両事業の成長を両立させ**、
かつ資本効率性向上のための**株主還元の拡充を、同時に、早期に進行**させるには、
都市開発・観光事業に外部資本を導入し、そのオフバランスを実行することで
同事業のさらなる成長を図ることが最も適切であると判断するに至りました。

■公表後、**多数の事業会社やファンドから、さまざまなご提案**をいただいており、
その手法、時期、規模等について、当社グループの企業価値及び株主共同の利益の
最大化の観点から、**検討を進めています**。

■本件に関して、さまざまな報道がなされていますが、
いずれの報道の内容も、当社が発表したものではありません。
今後、**公表する必要のある事項が決定され次第、適切に開示**する方針です。

© FUJI MEDIA HOLDINGS, INC. All Rights Reserved.

目次

1 2027年3月期　第1四半期　決算概要

2 2027年3月期　通期業績予想

3 株主への対応・利益還元

4 サステナビリティの取り組み

5 参考資料

© FUJI MEDIA HOLDINGS, INC. All Rights Reserved.

目次

1 **2027年3月期　第1四半期　決算概要**

2 2027年3月期　通期業績予想

3 株主への対応・利益還元

4 サステナビリティの取り組み

5 参考資料

© FUJI MEDIA HOLDINGS, INC. All Rights Reserved.

事業・業績概要

メディア・コンテンツ事業 増収増益（黒字化）

2018年度第1四半期以来、最高益

フジテレビは放送収入が事案前の水準へ、デジタルやアニメも好調で、2019年度第1四半期以来の売上高・営業利益となり増収増益、ポニーキャニオンはアニメ海外番販好調等で黒字化、**セグメント全体では増収増益、営業利益は本セグメント導入の2018年度第1四半期以来、最高益**

連結 増収増益

2008年10月の持株会社制導入後、過去最高益

メディア・コンテンツ事業は、フジテレビの放送収入の回復に加え、ポニーキャニオン等の黒字化等が寄与し、増収増益
都市開発・観光事業は、販売・売却事業は好調なものの観光事業の減収により減収減益となったが、**連結トータルでは増収増益、連結営業利益は、2008年10月の持株会社制導入後、過去最高**

都市開発・観光事業 減収減益

「観光」は減収だが「販売・売却」が好調

サンケイビルは賃貸マンション、ホテル等の販売・売却が好調、賃貸は今期竣工物件のフリーレント等開業時の初期赤字で減益
グランビスタは銀座グランドホテルの改装休館や神戸須磨シーワールドのオープニング期からの反動で減益、**セグメント全体では減収減益**

■フジテレビ：増収増益（黒字化）

□放送・メディア：増収増益

・放送収入：前期比で大幅増収
　ネットタイムは事案前を上回り、スポットもほぼ同水準まで回復
・配信広告：前期比で大幅増収、事案前水準へ回復基調続く
・番組費　：ワールドカップサッカー放映権等で増加したが、効率化は継続

□コンテンツ・ビジネス：増収増益

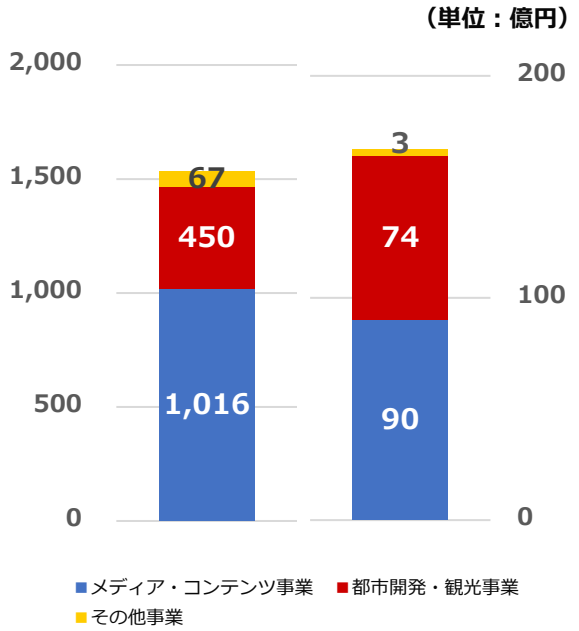
・デジタル：FODは「F1」中継効果などによる会員および収入増
　外部プラットフォーム向けコンテンツ販売も好調で増収
・アニメ　：IP育成エコシステムが奏功し、「めざましテレビ」放送中の「ちいかわ」「パペットスンスン」等の人気作品が貢献

■各社：

□ポニーキャニオン：アニメ海外番販や音楽・映像の配信増収に加え、前期計上の出資金評価損の影響もあり、増収増益（黒字化）
□dinos：主力の家具収納は好調だが、テレビ通販の苦戦等により減収減益

売上高
1,488億円
（28.2%増収）

営業利益
160億円
（黒字化）



■サンケイビル：増収増益

連結子会社化後、1Qの売上高・営業利益は過去最高

□**賃貸**：レジデンスやオフィス等の賃貸事業は引き続き好調だが今期竣工物件のフリーレント等開業時の初期赤字で減益
□**販売・売却**：ルフォンプログレ中野富士見町ザ・レジデンスやキャプション by Hyatt なんば 大阪の売却が寄与し増収増益

■グランビスタ ホテル＆リゾート：減収減益

札幌グランドホテルや鴨川シーワールドは引き続き好調だが銀座グランドホテルの改装休館や神戸須磨シーワールドのオープニング期からの反動減で減収、人件費増加や物価高も影響し減益

グループビジョン

2030年度目標： ROE6%　営業利益350億円+α
重点強化領域：
①IP開発・獲得
②制作・ディストリビューション強化
③IP多角展開
成長投資枠：総額1500億円～

2026年度見込み

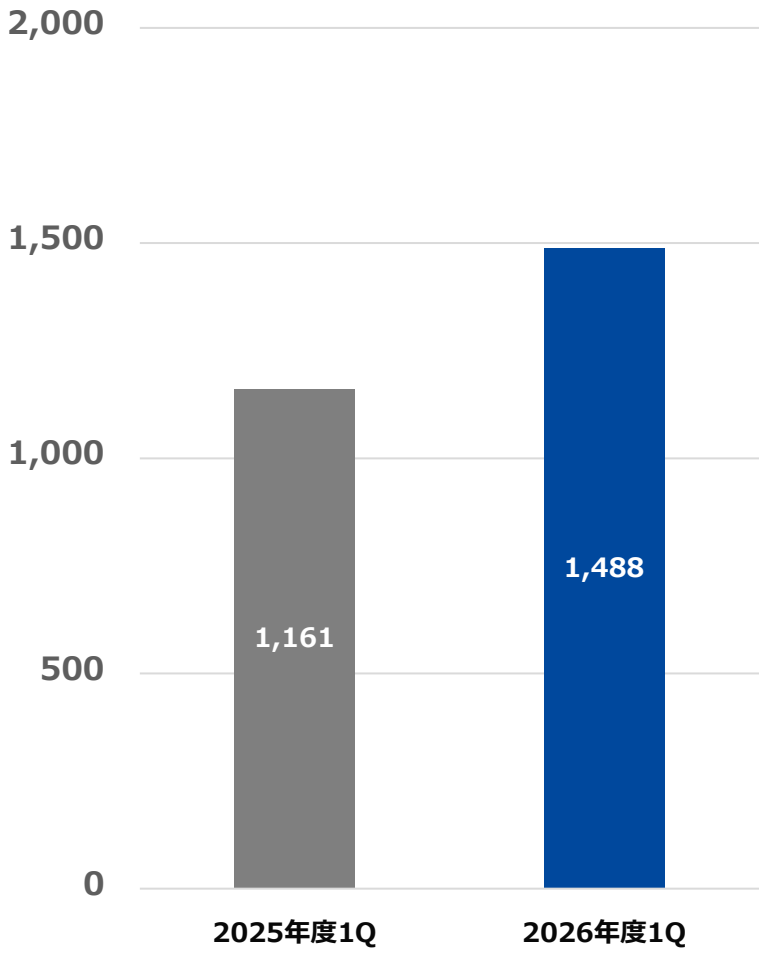
グループビジョン初年度、増収黒字化見込み
株主還元：年間配当200円見込み

© FUJI MEDIA HOLDINGS, INC. All Rights Reserved.

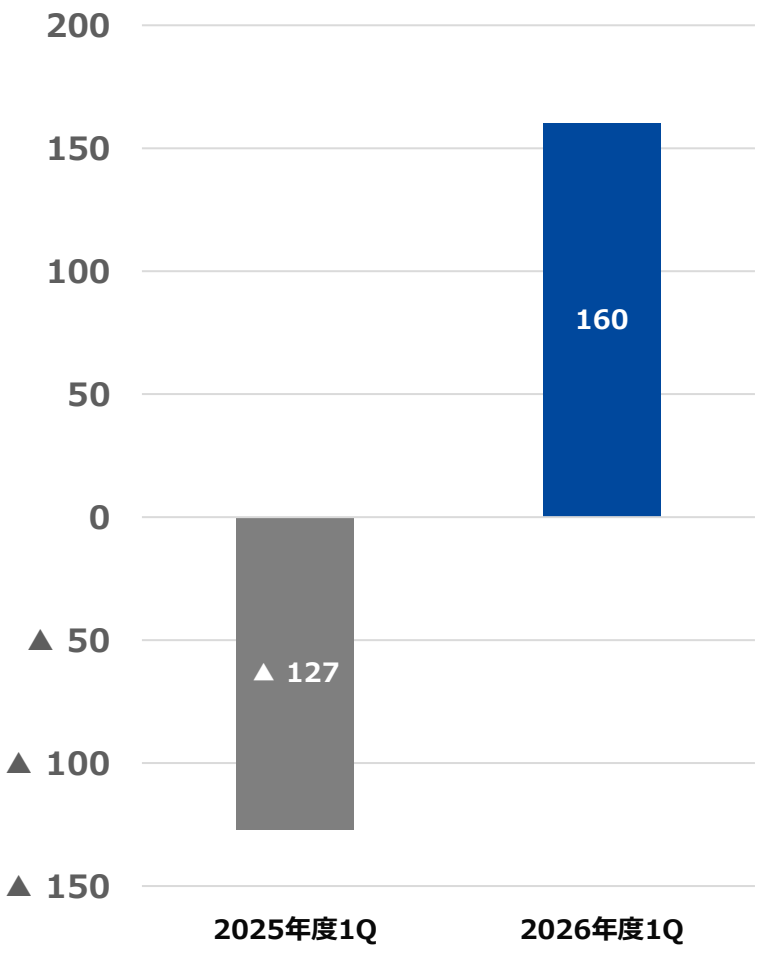
連結 ポイント

（単位：億円）

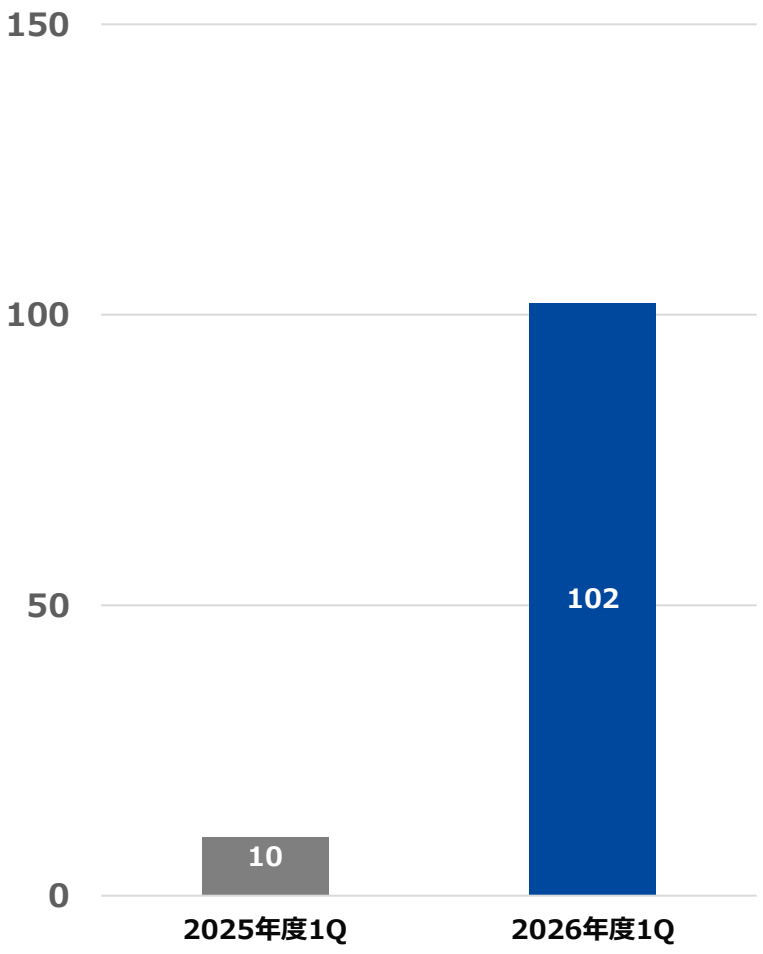
連結売上高：28%増収



連結営業損益：黒字化



親会社株主に帰属する四半期純利益：848%増益



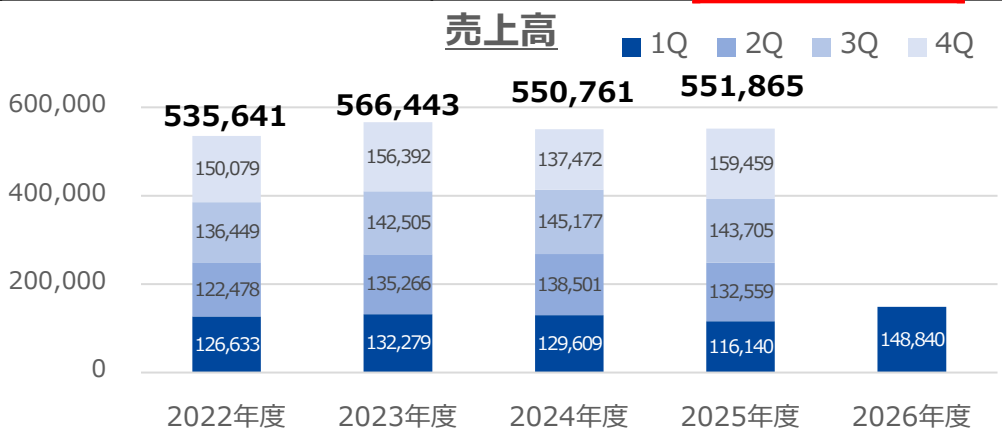
© FUJI MEDIA HOLDINGS, INC. All Rights Reserved.

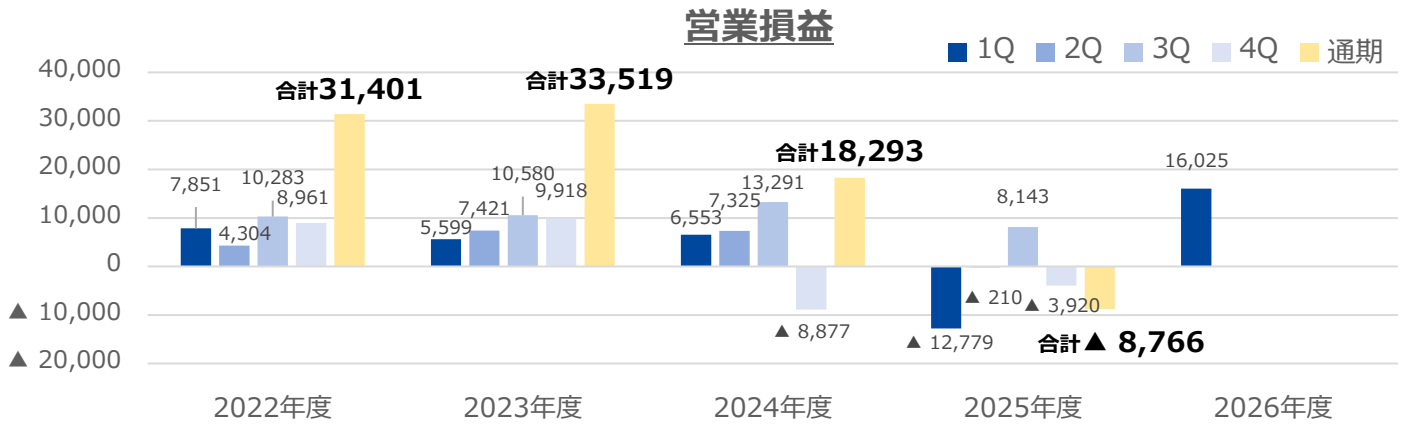
連結 決算概要

連結営業利益は、2008年10月の持株会社制導入後、過去最高益

（単位：百万円）

	2025年度 1Q	2026年度 1Q	対前期増減		通期 業績予想 (26/5/12)	対通期予想 達成率	
売上高	116,140	**148,840**	32,700	28.2%	625,700	▲476,859	23.8%
営業損益	▲12,779	**16,025**	28,805	—	40,100	▲24,074	40.0%
経常損益	▲10,656	**17,364**	28,021	—	38,300	▲20,935	45.3%
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,077	**10,218**	9,140	848.4%	26,100	▲15,881	39.2%





© FUJI MEDIA HOLDINGS, INC. All Rights Reserved.

セグメント別 売上高及び営業損益

メディア・コンテンツ事業の営業利益は、本セグメント導入の2018年度第1四半期以来、過去最高

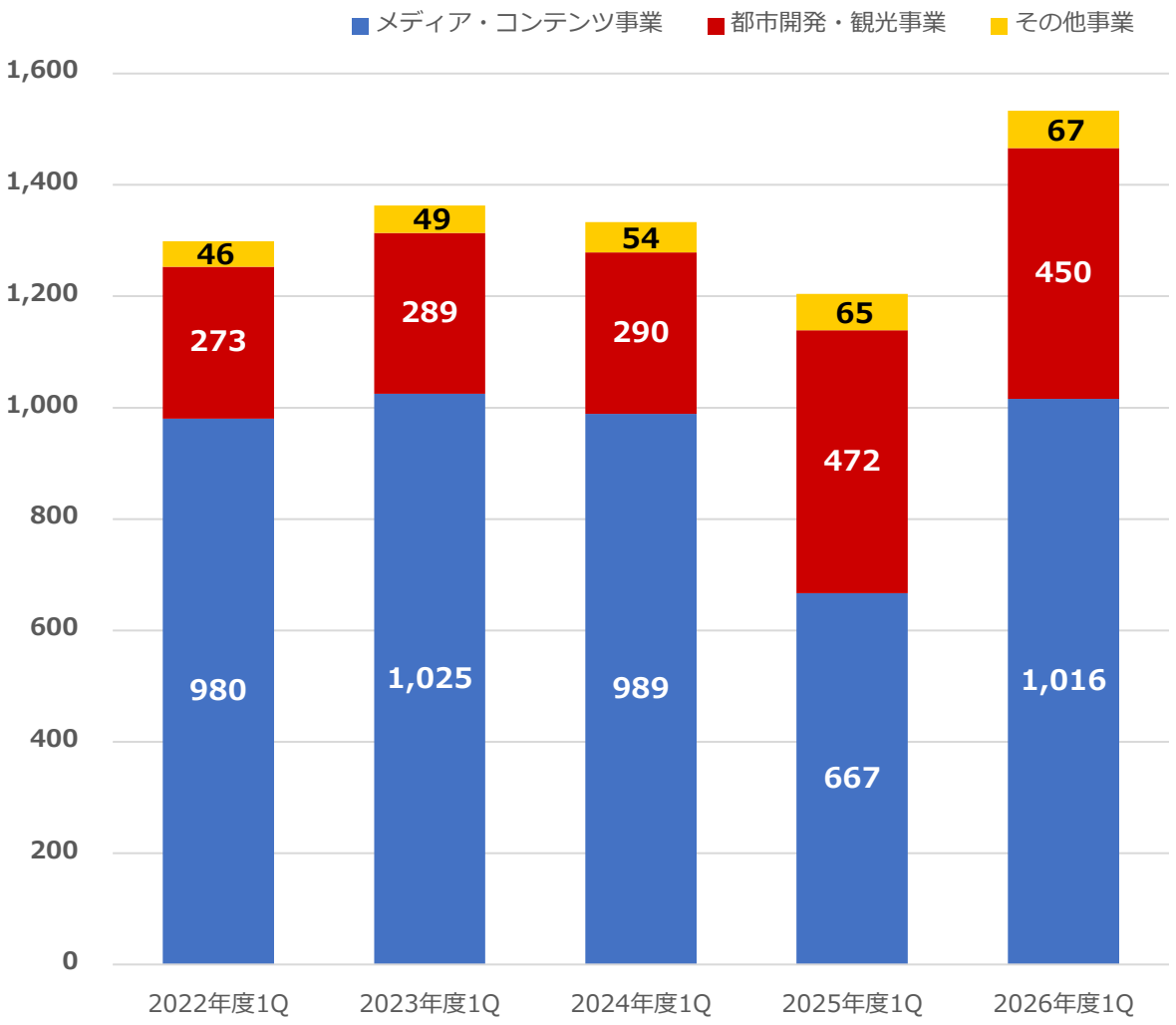
（単位：百万円）

	事業セグメント				計	調整額	連結損益計算書計上額
		メディア・コンテンツ事業	都市開発・観光事業	その他事業			
売上高	**2026年度1Q**	**101,659**	**45,085**	**6,710**	**153,455**	**▲4,614**	**148,840**
	2025年度1Q	66,710	47,297	6,504	120,511	▲4,371	116,140
	増　減	34,949	▲2,211	205	32,943	▲242	32,700
	増減（%）	52.4%	▲4.7%	3.2%	27.3%	—	28.2%
営業損益	**2026年度1Q**	**9,018**	**7,443**	**373**	**16,835**	**▲809**	**16,025**
	2025年度1Q	▲20,396	8,366	349	▲11,680	▲1,099	▲12,779
	増　減	29,414	▲922	23	28,515	289	28,805
	増減（%）	—	▲11.0%	6.7%	—	—	—
営業損益率	**2026年度1Q**	**8.9%**	**16.5%**	**5.6%**	**11.0%**	**—**	**10.8%**
	2025年度1Q	▲30.6%	17.7%	5.4%	▲9.7%	—	▲11.0%

© FUJI MEDIA HOLDINGS, INC. All Rights Reserved.

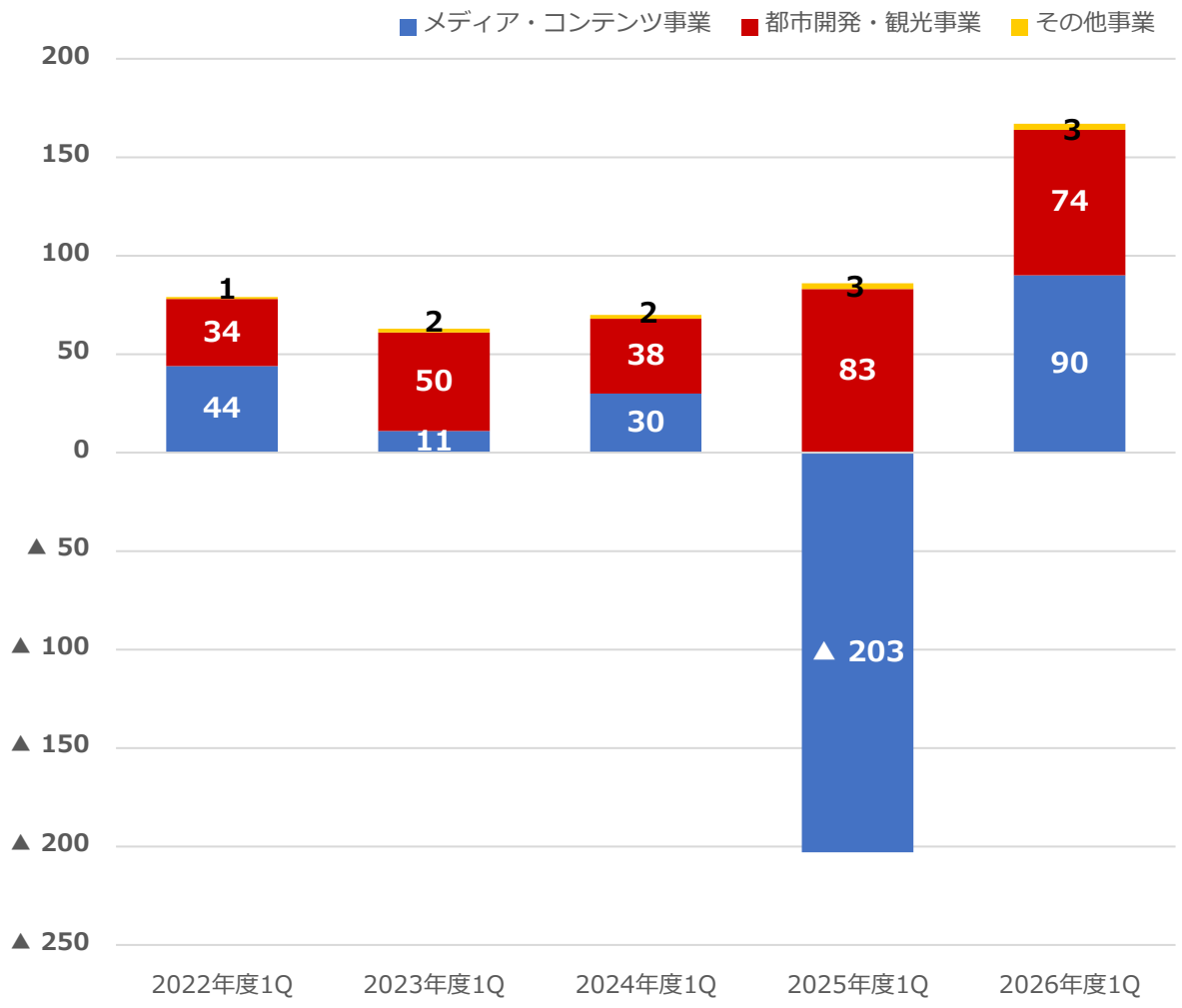
セグメント別 売上高・営業損益推移

売上高



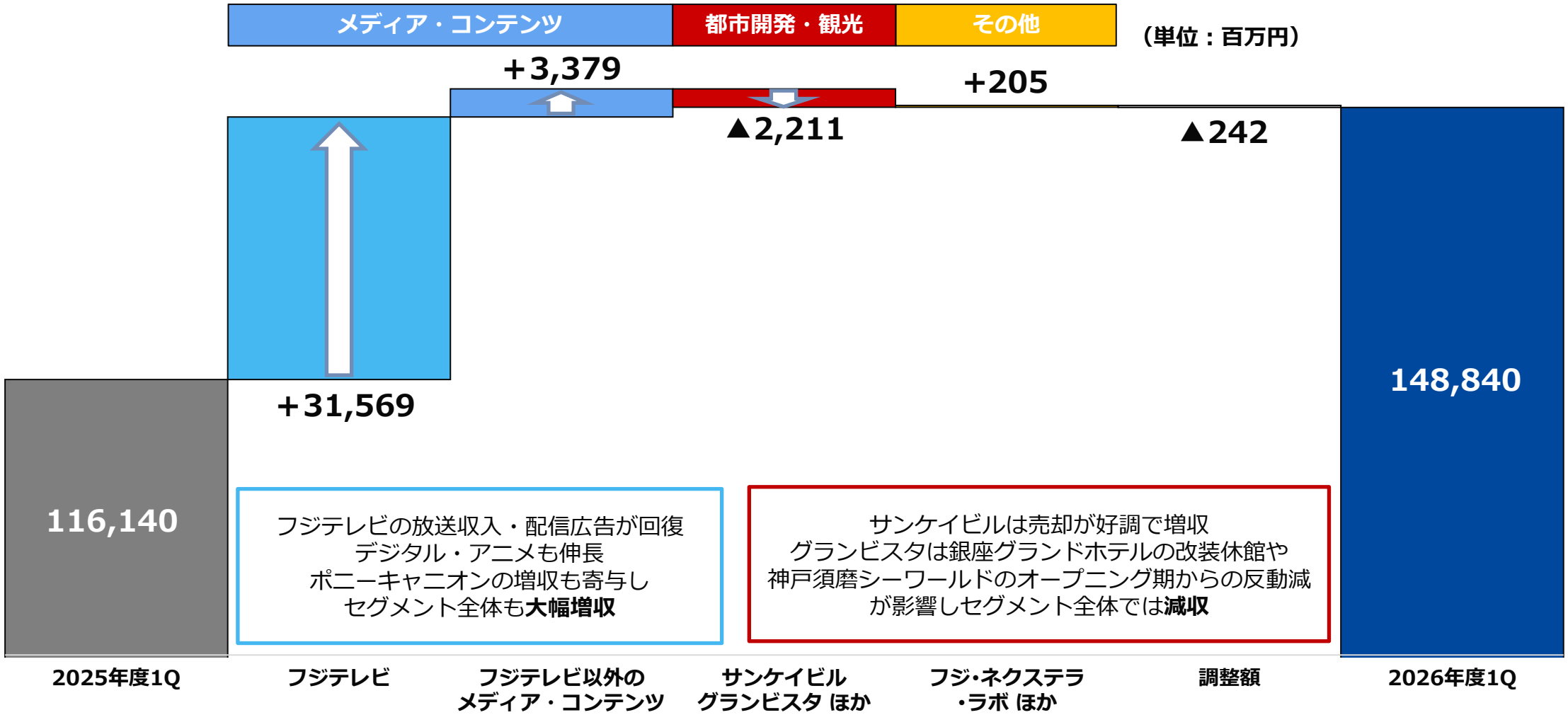
営業損益

（単位：億円）



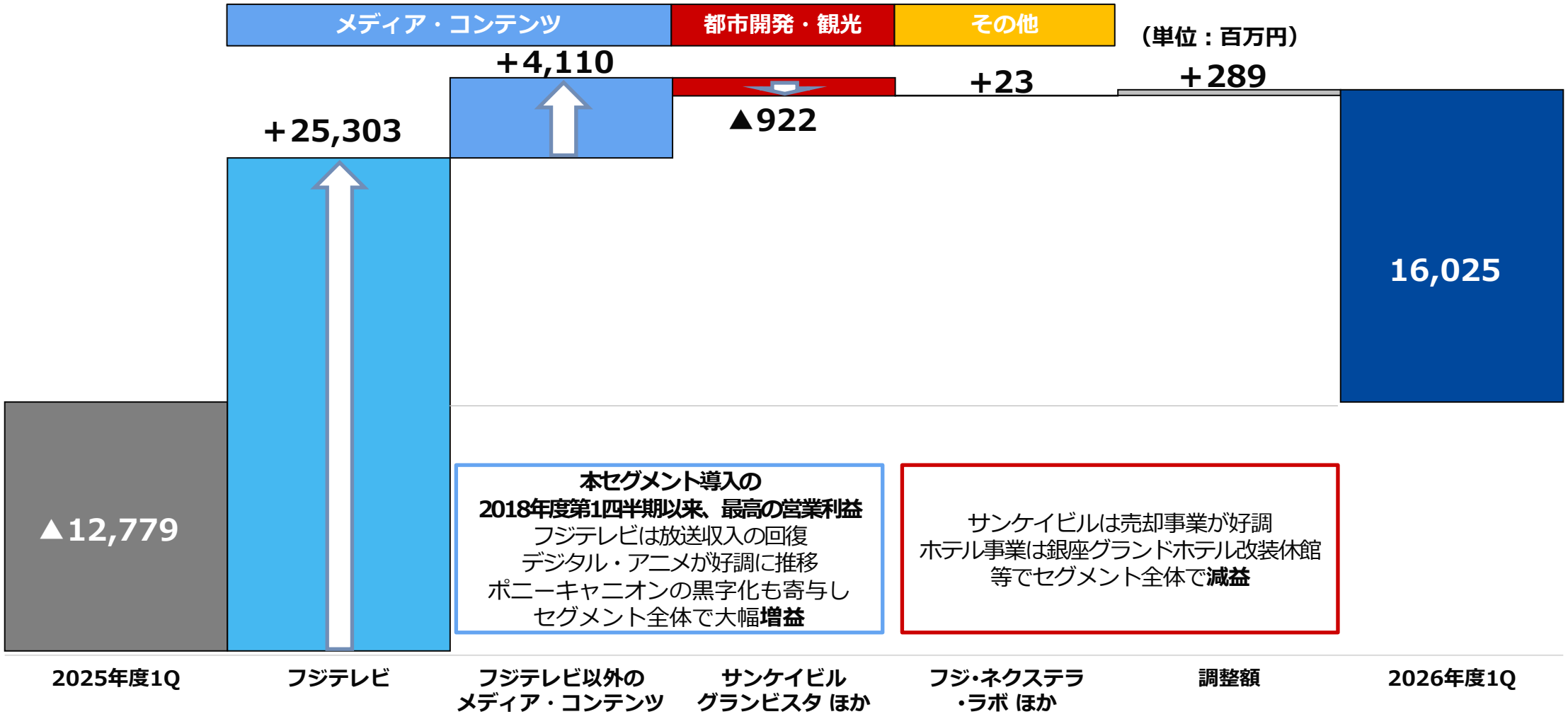
© FUJI MEDIA HOLDINGS, INC. All Rights Reserved.

セグメント別 売上高と増減要因



© FUJI MEDIA HOLDINGS, INC. All Rights Reserved.

セグメント別 営業損益と増減要因



© FUJI MEDIA HOLDINGS, INC. All Rights Reserved.

連結 営業外収益・費用の主な内容

（単位：百万円）

	2025年度 1Q	2026年度 1Q	対前期増減	
営業外収益				
受取配当金	2,459	2,552	92	3.8%
持分法による投資利益	—	220	220	—
その他	734	616	▲118	▲16.1%
営業外収益合計	3,194	**3,388**	194	6.1%
営業外費用				
支払利息	727	1,762	1,035	142.4%
持分法による投資損失	159	—	▲159	▲100.0%
その他	185	287	101	54.9%
営業外費用合計	1,072	**2,050**	978	91.2%

© FUJI MEDIA HOLDINGS, INC. All Rights Reserved.

連結 特別利益・損失の主な内容

（単位：百万円）

	2025年度 1Q	2026年度 1Q	対前期増減	
特別利益				
投資有価証券売却益	21,643	268	▲21,374	▲98.8%
その他	231	22	▲208	▲90.4%
特別利益合計	21,874	**290**	▲21,583	▲98.7%
特別損失				
特別退職金	―	482	482	―
独占禁止法関連損失引当金繰入額	―	250	250	―
建替関連損失	1,530	―	▲1,530	▲100.0%
その他	142	122	▲20	▲14.4%
特別損失合計	1,672	**854**	▲818	▲48.9%

© FUJI MEDIA HOLDINGS, INC. All Rights Reserved.

連結 貸借対照表

（単位：百万円）

	2025年度4Q末	2026年度1Q末	前期末比増減		2025年度4Q末	2026年度1Q末	前期末比増減
流動資産	390,667	362,589	▲28,078	**流動負債**	423,652	425,351	1,699
現金及び預金	84,265	80,849	▲3,416	買掛金	43,210	38,273	▲4,937
売掛金等	99,201	92,546	▲6,654	短期借入金	277,577	317,482	39,904
有価証券	72,551	60,605	▲11,946	その他	102,864	69,595	▲33,268
棚卸資産	89,649	82,482	▲7,167	**固定負債**	479,608	474,667	▲4,940
その他	44,999	46,105	1,106	社債	22,000	22,000	—
固定資産	1,074,060	1,091,569	17,508	長期借入金	315,557	309,227	▲6,329
有形固定資産	615,910	638,354	22,444	その他	142,050	143,439	1,388
建物及び構築物	190,934	195,747	4,813	**株主資本**	424,265	419,947	▲4,318
土地	388,581	401,297	12,715	資本金等	504,212	499,894	▲4,318
その他	36,393	41,309	4,915	自己株式	▲79,946	▲79,946	▲0
無形固定資産	24,164	24,801	636	**その他の包括利益累計額**	122,453	119,308	▲3,144
投資その他の資産	433,985	428,413	▲5,572	**非支配株主持分**	14,748	14,884	135
資産合計	**1,464,728**	**1,454,158**	**▲10,569**	**負債・純資産合計**	**1,464,728**	**1,454,158**	**▲10,569**

【参考】
都市開発関連資産
（決算期末時点）

		2024年度4Q末	2025年度4Q末	前期末比増減
棚卸資産	販売用不動産	46,892	37,780	▲9,112
	仕掛販売用不動産	13,152	11,570	▲1,581
	開発不動産	4,808	16,274	11,465
有形固定資産	賃貸等不動産	348,054	410,530	62,475

© FUJI MEDIA HOLDINGS, INC. All Rights Reserved.

メディア・コンテンツ事業 決算のポイント

※フジテレビの決算のポイントはP.19をご参照ください

IP開発・獲得 | 制作・ディストリビューション | IP多角展開

ビーエスフジ

増収増益

放送収入がタイム・スポット共に回復したことにより、イベント収入の前期との規模差での減収をカバーし、増収
番組制作費の抑制も寄与し、増益

IP開発・獲得 | 制作・ディストリビューション | IP多角展開

ポニーキャニオン

増収増益（黒字化）

「リィンカーネーションの花弁」等アニメの海外番販や音楽・映像の配信が好調に推移し、増収
さらに、出資金の評価洗替による戻入益もあり、増益・黒字化

IP開発・獲得 | 制作・ディストリビューション | IP多角展開

フジクリエイティブコーポレーション

減収減益

前期にあった自社制作アニメの反動減やレギュラー番組の減少により、減収
販管費抑制に努めたが、減収の影響を補えず、減益

IP開発・獲得 | 制作・ディストリビューション | IP多角展開

ニッポン放送

増収増益

スポットは減収だが、タイムおよび番組制作が増収で、放送事業は増収
イベントの増収もあり、売上高全体でも増収
利益率の高い放送事業収入の増収が奏功し、増益

IP開発・獲得 | 制作・ディストリビューション | IP多角展開

フジパシフィックミュージック

増収増益

著作権使用料収入の好調な推移に加え、「LUNA SEA」コンサート等の映像制作収入の増加もあり、増収
販管費の減少も寄与し、増益

制作・ディストリビューション | IP多角展開

dinos

減収減益

主力の家具収納・リビングは堅調だったがテレビ通販の減収を補いきれず全体では、減収
カタログ発行の効率化など費用抑制に努めたが減収の影響をカバーできず、減益

IP開発・獲得 | 制作・ディストリビューション | IP多角展開

クオラス

減収増益

テレビ、マーケティングプロモーションが好調だったが、イベントの反動減を補えず、減収
原価率の改善により、営業利益は増益

© FUJI MEDIA HOLDINGS, INC. All Rights Reserved.

メディア・コンテンツ事業 会社別概要

（単位：百万円）

	売上高			営業利益			営業利益率		
	2025年度 1Q	**2026年度 1Q**	前期比	2025年度 1Q	**2026年度 1Q**	前期比	2025年度 1Q	**2026年度 1Q**	増減
フジテレビジョン	25,035	**56,604**	31,569 (126.1%)	▲21,713	**3,589**	25,303 (—)	▲86.7%	6.3%	93.0%
ビーエスフジ	2,967	**3,238**	271 (9.1%)	306	**664**	358 (117.0%)	10.3%	20.5%	10.2%
ニッポン放送	3,278	**3,524**	245 (7.5%)	109	**195**	85 (78.4%)	3.3%	5.5%	2.2%
フジクリエイティブコーポレーション	3,276	**2,703**	▲572 (▲17.5%)	144	**102**	▲41 (▲28.8%)	4.4%	3.8%	▲0.6%
共同テレビジョン	3,292	**3,814**	522 (15.9%)	56	**217**	160 (283.0%)	1.7%	5.7%	4.0%

© FUJI MEDIA HOLDINGS, INC. All Rights Reserved.

メディア・コンテンツ事業 会社別概要

（単位：百万円）

	売上高			営業利益			営業利益率		
	2025年度 1Q	**2026年度 1Q**	前期比	2025年度 1Q	**2026年度 1Q**	前期比	2025年度 1Q	**2026年度 1Q**	増減
ポニーキャニオン	6,413	**6,911**	497 (7.8%)	▲322	**867**	1,190 (—)	▲5.0%	12.6%	17.6%
フジパシフィックミュージック	2,957	**3,369**	412 (13.9%)	208	**332**	124 (59.6%)	7.0%	9.9%	2.9%
d i n o s	10,618	**10,229**	▲389 (▲3.7%)	97	**42**	▲54 (▲56.0%)	0.9%	0.4%	▲0.5%
クオラス※	8,693	**7,979**	▲714 (▲8.2%)	299	**315**	16 (5.4%)	3.4%	4.0%	0.6%
その他及びセグメント内修正等	176	**3,284**	—	417	**2,689**	—	—	—	—
セグメント合計	66,710	**101,659**	34,949 (52.4%)	▲20,396	**9,018**	29,414 (—)	▲30.6%	8.9%	39.5%

※クオラスの広告出稿の実取扱高を含めた売上高は前期13,870百万円、当期14,223百万円。

© FUJI MEDIA HOLDINGS, INC. All Rights Reserved.

フジテレビ 決算のポイント

ポイント

増収増益（黒字化）　：2019年度第1四半期以来の売上高・営業利益
放送収入の大幅な回復に加え、デジタルやアニメも好調で、トータルで増収黒字化
放送・メディア　：増収粗利益増益：ネット、ローカル、スポット、配信広告の全てが前期比で大幅回復
コンテンツ・ビジネス：増収粗利益増益：イベントは規模差等により減収だが、デジタル・アニメ等の好調により増収増益

放送・メディア

制作・ディストリビューション

放送収入：増収

■**タイム・スポット**
前期比で大幅増収
ネットタイムは事案前水準を上回り、
スポットも同水準までほぼ回復

制作・ディストリビューション

その他放送・メディア収入：増収

■**配信広告**
前期比で大幅増収
事案前の水準に向け、引き続き回復基調で推移

コンテンツ・ビジネス

IP開発・獲得　制作・ディストリビューション　IP多角展開

デジタル：増収

■**FOD**
地上波との連動や、独占配信コンテンツの
調達等のコンテンツ戦略、
「F1」のプレミアムプラン導入による
加入者増に伴う会員収入増

■**配信権販売**
外部配信プラットフォームへの
地上波ドラマ・バラエティの
配信権販売が引き続き好調

IP開発・獲得　制作・ディストリビューション　IP多角展開

映画：減収

■**劇場公開**
「教場 Requiem」「SUPER BEAVER
LIVE & DOCUMENTARY 現在地」
「箱の中の羊」などが貢献

■**配信権販売**
新作・ライブラリー作品の外部配信
プラットフォームへの配信権販売が
引き続き好調

IP開発・獲得　制作・ディストリビューション　IP多角展開

アニメ：増収

「るろうに剣心ー明治剣客浪漫譚ー
京都動乱」等のアーカイブが寄与
「パペットスンスン」等の
人気作品関連の貢献も続く

IP多角展開

催物：減収

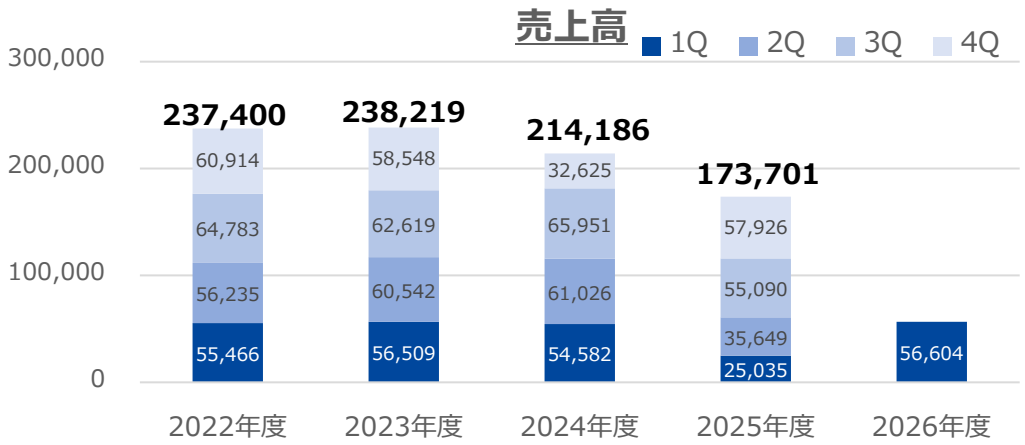
舞台「四畳半神話大系」
「アンドリュー・ワイエス展」等が寄与

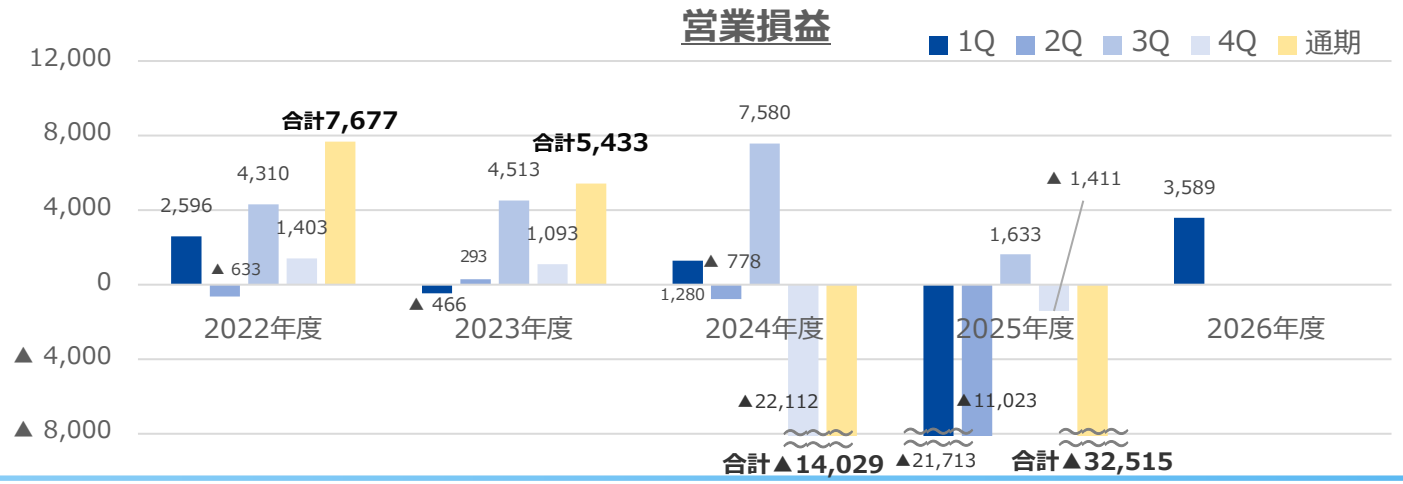
© FUJI MEDIA HOLDINGS, INC. All Rights Reserved.

フジテレビ 決算概要

（単位：百万円）

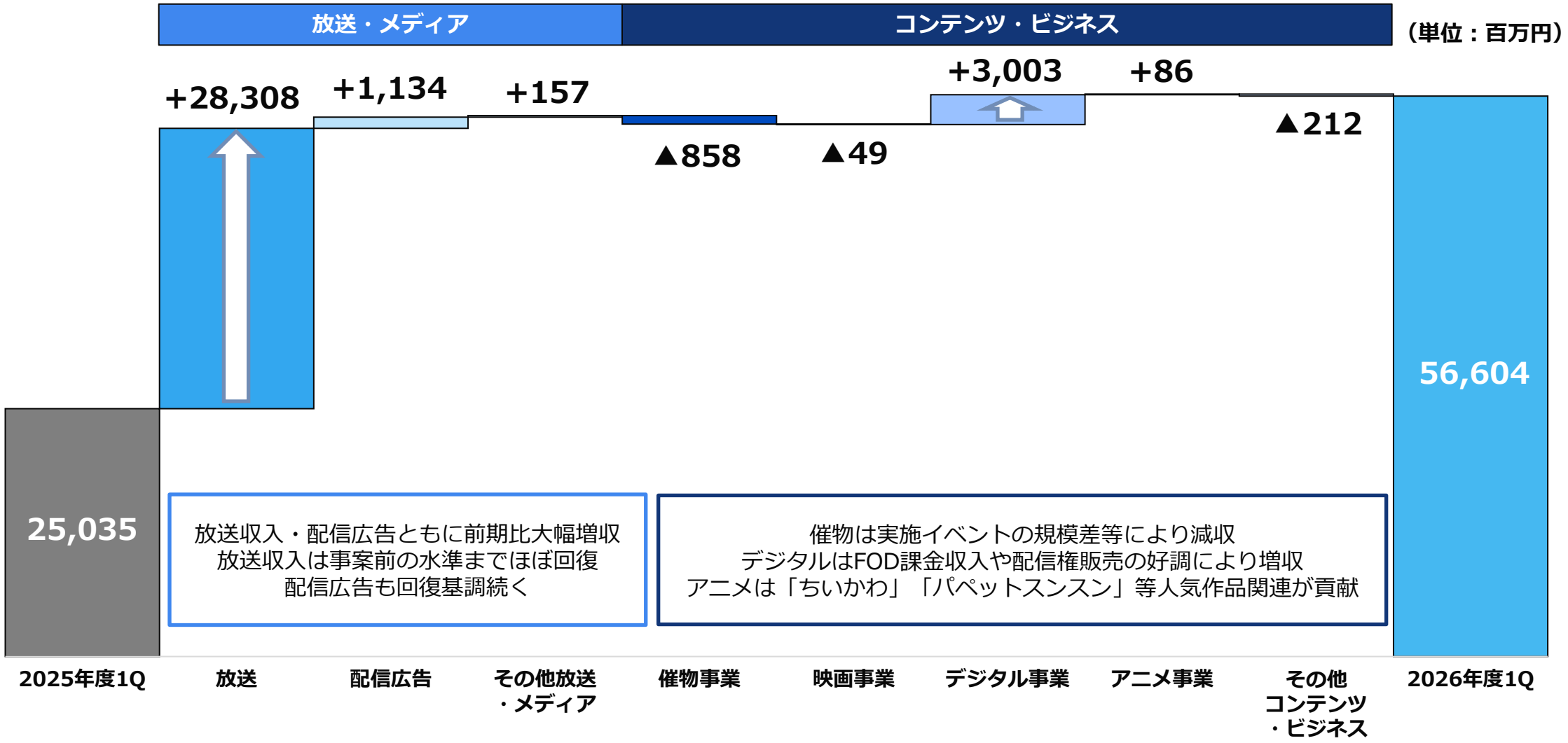
	2025年度 1Q	2026年度 1Q	対前期増減	
売上高	25,035	**56,604**	31,569	126.1%
営業損益	▲21,713	**3,589**	25,303	—
経常損益	▲21,502	**3,732**	25,235	—
四半期純損益	▲18,995	**3,426**	22,421	—





© FUJI MEDIA HOLDINGS, INC. All Rights Reserved.

フジテレビ 売上高と増減要因



© FUJI MEDIA HOLDINGS, INC. All Rights Reserved.

内訳別の収入及び粗利益

（単位：百万円）

		内訳		計
		放送・メディア	コンテンツ・ビジネス	
収入	**2026年度1Q**	**39,879**	**16,725**	**56,604**
	2025年度1Q	10,279	14,755	25,035
	増　減	29,599	1,969	31,569
	増減（%）	287.9%	13.3%	126.1%
粗利益	**2026年度1Q**	**12,124**	**6,034**	**18,159**
	2025年度1Q	▲16,987	3,764	▲13,223
	増　減	29,112	2,270	31,382
	増減（%）	—	60.3%	—

粗利益率	**2026年度1Q**	**30.4%**	**36.1%**	**32.1%**
	2025年度1Q	—	**25.5%**	—

© FUJI MEDIA HOLDINGS, INC. All Rights Reserved.

販管費及び営業外損益概要

（単位：百万円）

	2025年度 1Q	2026年度 1Q	対前期増減	
販売費及び一般管理費	8,490	14,569	6,079	71.6%
販売費	4,465	10,398	5,933	132.9%
一般管理費	4,025	4,171	145	3.6%
営業費用合計	**46,748**	**53,014**	**6,266**	**13.4%**
営業損益	**▲21,713**	**3,589**	**25,303**	**—**
営業外収益	278	229	▲48	▲17.4%
営業外費用	67	86	19	29.5%
経常損益	**▲21,502**	**3,732**	**25,235**	**—**

© FUJI MEDIA HOLDINGS, INC. All Rights Reserved.

放送・メディア 収入と原価

（単位：百万円）

	2025年度 1Q	2026年度 1Q	対前期増減	
放　送　・　メ　デ　ィ　ア　収　入	**10,279**	**39,879**	**29,599**	**287.9%**
放送収入	**5,968**	**34,276**	**28,308**	**474.3%**
タイム	3,558	16,735	13,177	**370.3%**
（ネットタイム）	2,740	14,962	12,222	445.9%
（ローカルタイム）	818	1,773	955	116.7%
スポット	2,409	17,541	15,131	628.0%
その他の放送・メディア収入	**4,311**	**5,602**	**1,291**	**29.9%**
配信広告	472	1,606	1,134	240.2%
番組販売	3,190	3,129	▲61	▲1.9%
その他	649	867	218	33.6%
放　送　・　メ　デ　ィ　ア　原　価	**27,267**	**27,754**	**487**	**1.8%**
放　送　・　メ　デ　ィ　ア　粗　利　益	**▲16,987**	**12,124**	**29,112**	**—**

© FUJI MEDIA HOLDINGS, INC. All Rights Reserved.

放送収入 月次推移

（単位：百万円）

	2026年度					対前期比増減					対前期比				
	タイム			スポット	合計	タイム			スポット	合計	タイム			スポット	合計
	合計	内ネット	内ローカル				内ネット	内ローカル				内ネット	内ローカル		
4月	5,104	4,515	589	6,178	11,283	+4,045	+3,741	+303	+5,616	+9,662	482.1%	583.8%	206.4%	1100.1%	696.2%
5月	5,214	4,568	645	6,132	11,347	+4,070	+3,682	+387	+5,312	+9,382	455.6%	515.5%	250.1%	748.0%	577.6%
6月	6,416	5,878	537	5,229	11,646	+5,061	+4,797	+263	+4,201	+9,263	473.5%	543.8%	196.1%	508.8%	488.7%
7月															
8月															
9月															
10月															
11月															
12月															
1月															
2月															
3月															

【参考】前々期比較（四半期推移）

	2026年度					対前々期比増減					対前々期比				
	タイム			スポット	合計	タイム			スポット	合計	タイム			スポット	合計
	合計	内ネット	内ローカル				内ネット	内ローカル				内ネット	内ローカル		
1Q	16,735	14,962	1,773	17,541	34,276	▲600	+28	▲629	▲435	▲1,036	96.5%	100.2%	73.8%	97.6%	97.1%
2Q															
上期															
3Q															
4Q															
下期															
通期															

© FUJI MEDIA HOLDINGS, INC. All Rights Reserved.

スポット収入 業種別動向

（2026年4月～2026年6月）※管理ベース

業種	2025年度 1Q	2026年度 1Q	対前期増減
情報・通信・放送	16.1%	15.9%	613.4%
化粧品・トイレタリー	2.8%	11.9%	2997.5%
外食・各種サービス	31.1%	9.0%	109.9%
食品	3.1%	8.0%	1734.4%
交通・レジャー・観光	9.4%	6.6%	407.6%
流通・小売業	7.9%	6.3%	484.5%
非アルコール飲料	0.7%	5.4%	5284.1%
金融・保険	3.8%	5.3%	892.4%
自動車・関連品	—	4.5%	—

業種	2025年度 1Q	2026年度 1Q	対前期増減
医薬品・医療用品	4.2%	4.3%	647.9%
出版・エンタテイメント	6.3%	3.9%	348.8%
衣料・身回品・雑貨	1.2%	3.7%	2176.5%
事務・精密・光学機器	—	3.4%	—
アルコール飲料	1.0%	3.3%	2208.2%
不動産・住宅設備	4.0%	2.6%	376.1%
家電・ＡＶ機器	2.5%	2.1%	485.0%
電話サービス	—	1.5%	—
エネルギー・機械	—	0.9%	—
その他	5.9%	1.6%	98.3%

© FUJI MEDIA HOLDINGS, INC. All Rights Reserved.

コンテンツ・ビジネス 収入と原価

（単位：百万円）

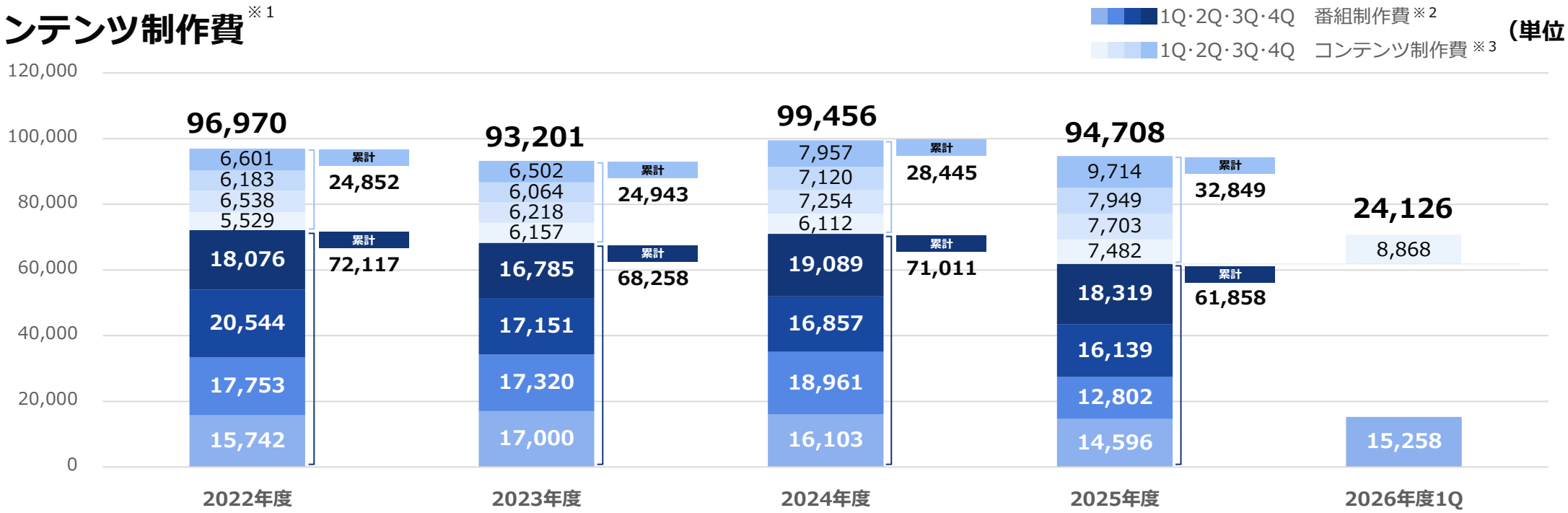
	2025年度 1Q	2026年度 1Q	対前期増減	
コンテンツ・ビジネス収入	**14,755**	**16,725**	**1,969**	**13.3%**
催物事業収入	1,526	668	▲858	▲56.2%
映画事業収入	1,435	1,385	▲49	▲3.4%
デジタル事業収入	5,167	8,171	3,003	58.1%
MD事業収入	1,131	919	▲212	▲18.8%
アニメ事業収入	1,659	1,745	86	5.2%
ビデオ事業収入	367	187	▲180	▲49.0%
海外番販事業収入	347	455	107	30.9%
CS事業収入	2,616	2,708	92	3.5%
その他の収入	502	483	▲19	▲3.8%
コンテンツ・ビジネス原価	**10,990**	**10,690**	**▲300**	**▲2.7%**
コンテンツ・ビジネス粗利益	**3,764**	**6,034**	**2,270**	**60.3%**

© FUJI MEDIA HOLDINGS, INC. All Rights Reserved.

フジテレビ コンテンツ投下額（総コンテンツ制作費・コンテンツ勘定）

■総コンテンツ制作費※1

（単位：百万円）



■コンテンツ勘定※4

※1　総コンテンツ制作費：番組制作費及びコンテンツ制作費の合計額
※2　番組制作費：自社制作番組及び購入番組の直接費
※3　コンテンツ制作費：デジタル事業原価、アニメ開発事業原価、CS事業原価及び映画事業原価の合計額
※4　コンテンツ勘定：番組勘定、仕掛品及び前渡金の合計額

© FUJI MEDIA HOLDINGS, INC. All Rights Reserved.

配信関連 配信広告とデジタル事業

配信関連ビジネス

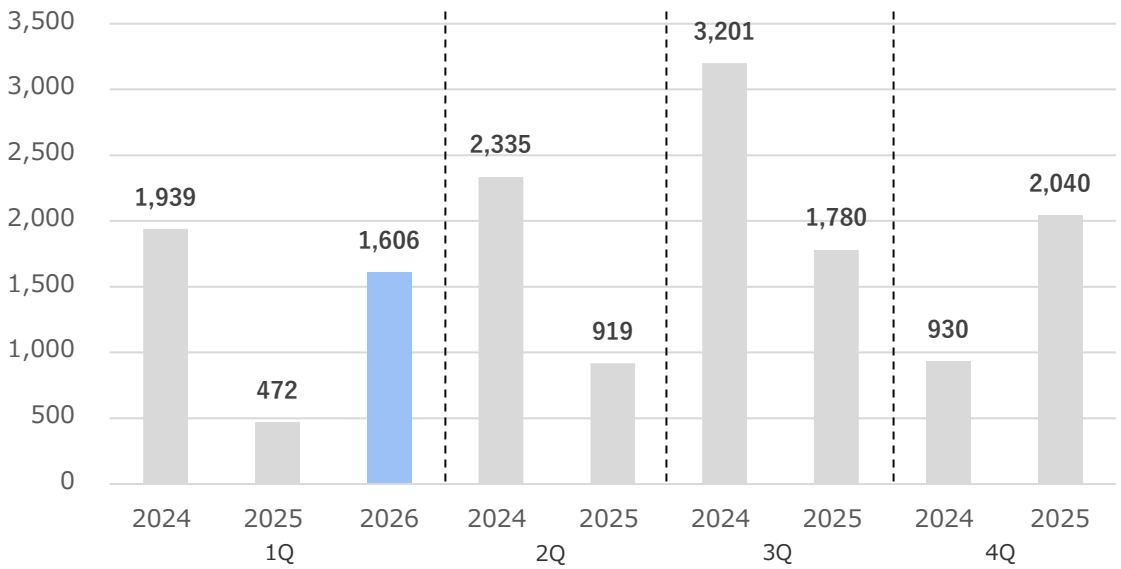
①配信広告　　：「TVer」等のAVOD
②デジタル事業：「FOD」のSVOD、配信プラットフォームへのテレビ番組やオリジナルコンテンツの販売
「FNNプライムオンライン」「めざましmedia」の広告収入
③その他　　：「映画事業」「アニメ事業」等のコンテンツ販売、海外へのコンテンツ販売等

実績

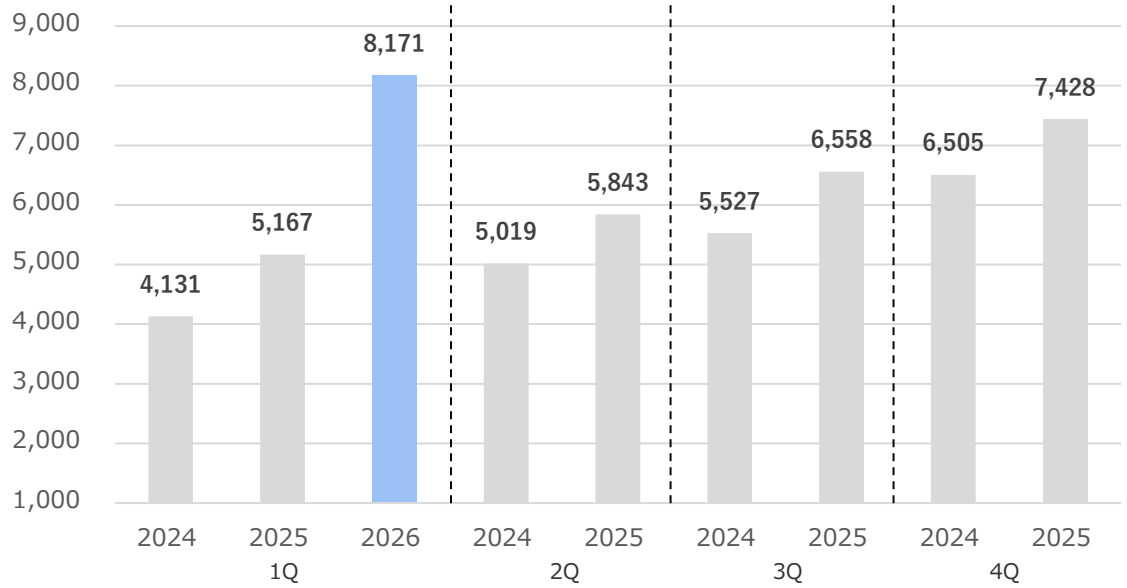
①：配信広告収入は引き続き回復基調
②：FODにおける「F1」中継効果などによる会員収入増、外部プラットフォーム向けコンテンツ販売も好調

（単位：百万円）

配信広告売上高



デジタル事業売上高



© FUJI MEDIA HOLDINGS, INC. All Rights Reserved.

IP・アニメ関連

・フジテレビ　Webtoon新レーベル「TOON8（トゥーンエイト）」始動

業界をけん引する有力企業4社と連携した新レーベル「TOON8」を立ち上げ。
フジテレビの映像制作力と、パートナー企業のWebtoon制作ノウハウを融合し、
多彩なジャンルのオリジナル作品を創出。ここから生まれる作品を起点に、
ドラマ化や配信、イベント、音楽などへ展開する新たなIP開発を推進する予定。

・フジテレビ　新・こども番組「ぱちぱちるんるん」

新番組「ぱちぱちるんるん」（毎週日曜6:15～関東ローカル）を4月5日からスタート。
親子二世代にむけて、多彩なショートコンテンツを展開。
次世代IPの創出に加え、「ガチャピン・ムック」等の既存IPの拡張を推進する実験的プロジェクト。

フジテレビ　アニメビジネスモデル

企画		制作	流通
原作	フジテレビ 自社企画 製作委員会出資	グループアニメ制作会社 david production パートナーアニメ制作会社	フジテレビ 国内配信 海外配信 マーチャンダイジング 地上波放送 上映 その他流通販路

（単位：百万円）

収入

	2026年度1Q
アニメ事業収入	**1,745**
ＭＤ事業収入	**919**
放送収入	34,276
海外番販事業収入	455
映画事業収入	1,385

※1 ＩＰ・アニメから生じる代表的な収入項目を抜粋
※2 ＩＰ・アニメから生じる収入は上記金額の内数

© FUJI MEDIA HOLDINGS, INC. All Rights Reserved.

都市開発・観光事業 決算のポイント

ポイント

減収減益　：都市開発の販売・売却は好調だったが、観光や建設エンジニアリングにおける反動減などで減収減益
賃貸　：引き続き賃料・稼働率は高水準を維持したが、前年度の物件売却の影響で減収減益
販売・売却　：賃貸マンションやホテルの売却により増収増益
観光　：銀座グランドホテルの改装休館や、神戸須磨シーワールドのオープニング期からの反動減で減収減益

賃貸：減収減益

■**賃貸事業全体の動向**
保有物件の賃料水準や稼働状況は好調に推移しているが
今期竣工物件のフリーレント等開業時の初期赤字などにより減益

■**住宅・オフィス**
昨年取得した賃貸住宅ルフォンリヴェントシリーズや、
オフィスS-GATE等の稼働が貢献。
既存物件も、稼働好調。賃料も高水準で推移

■**ホテル等**
好調なインバウンドおよび国内観光需要を取り込み、堅調

販売・売却：増収増益

■**賃貸マンション**
「リヴェント福島」
（2024年3月竣工：96戸・13階建て）
「ルフォンプログレ中野富士見町ザ・レジデンス」
（2021年8月竣工：67戸・地上3階地下1階建て）

■**ホテル等**
「函館湯の川温泉 海と灯」
「キャプション by Hyatt なんば 大阪」

観光（グランビスタ ホテル＆リゾート）：減収減益

■**札幌グランドホテル・鴨川シーワールドは引き続き好調だが一部業績押し下げ要素あり**
□ホテルインターゲート大阪 梅田は万博の反動減があるものの、東京 京橋や広島は好調
また、中国を除く東南アジアや欧米等からのインバウンドや国内観光客共に順調

□業績押し下げ要素
銀座グランドホテルの改装に伴う休館、神戸須磨シーワールドのオープニング期からの
反動減のため

その他：減収減益

■**サンケイビルテクノ**
前期データセンター請負工事の反動減
により減収営業損失

© FUJI MEDIA HOLDINGS, INC. All Rights Reserved.

都市開発・観光事業 会社別概要

（単位：百万円）

	売上高			営業利益			営業利益率		
	2025年度1Q	**2026年度1Q**	前期比	2025年度1Q	**2026年度1Q**	前期比	2025年度1Q	**2026年度1Q**	前期比
サンケイビル	27,031	**28,407**	1,376 (5.1%)	6,882	**6,892**	10 (0.2%)	25.5%	24.3%	▲1.2%
グランビスタホテル&リゾート	10,589	**10,160**	▲428 (▲4.0%)	939	**114**	▲825 (▲87.8%)	8.9%	1.1%	▲7.8%
その他及びセグメント内修正等	9,676	6,516	—	544	436	—	—	—	—

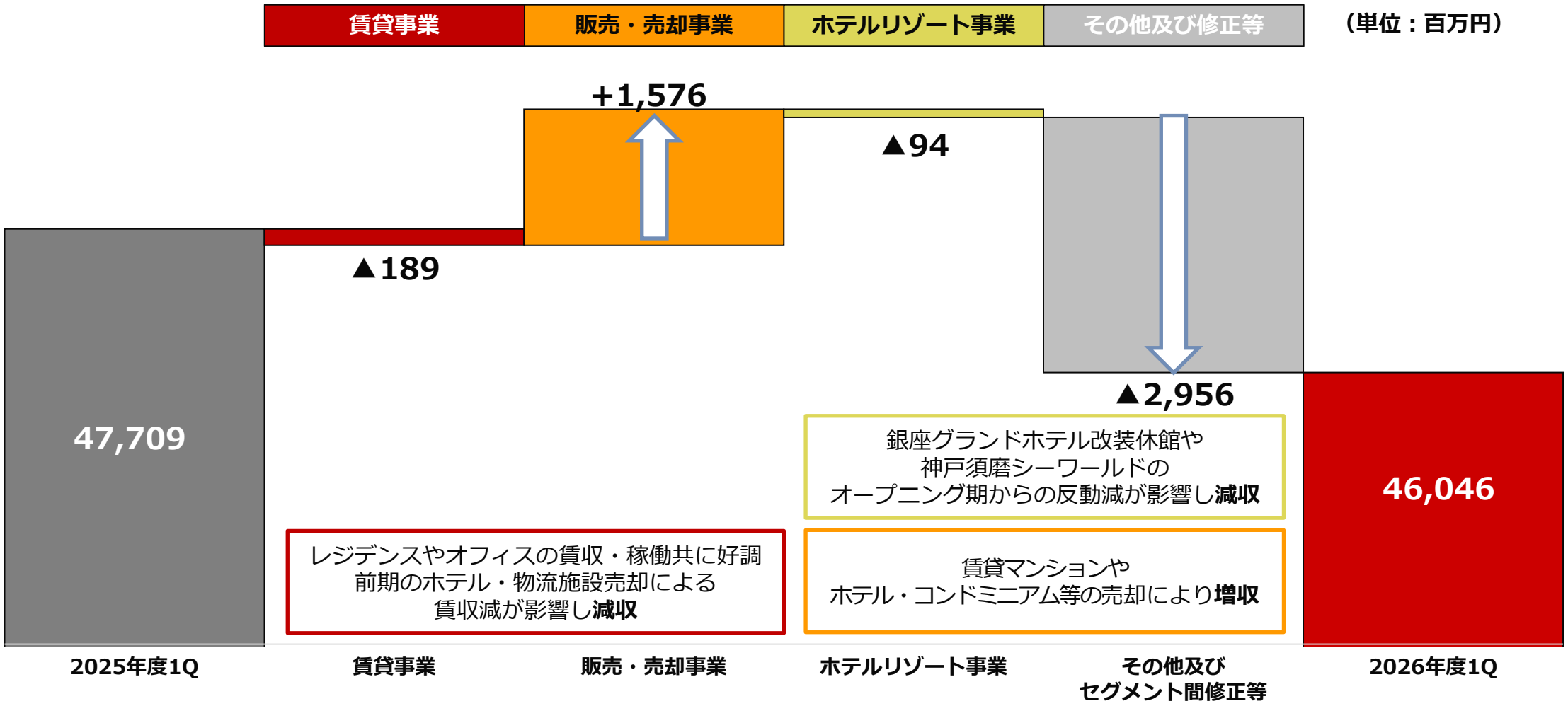
■参考：サンケイビルグループ連結事業別内訳（FMHとは連結対象が異なります）

	売上高			営業利益			営業利益率		
	2025年度1Q	**2026年度1Q**	前期比	2025年度1Q	**2026年度1Q**	前期比	2025年度1Q	**2026年度1Q**	前期比
賃貸事業	7,130	**6,940**	▲189	1,735	**1,031**	▲704	24.3%	14.9%	▲9.4%
販売・売却事業	19,896	**21,473**	1,576	6,017	**6,609**	592	30.2%	30.8%	0.6%
ホテルリゾート事業	11,836	**11,741**	▲94	938	**249**	▲689	7.9%	2.1%	▲5.8%
その他及びセグメント間修正等	8,847	**5,891**	▲2,956	▲379	**▲426**	▲47	—	—	—

© FUJI MEDIA HOLDINGS, INC. All Rights Reserved.

サンケイビルグループ連結事業別 売上高と増減要因

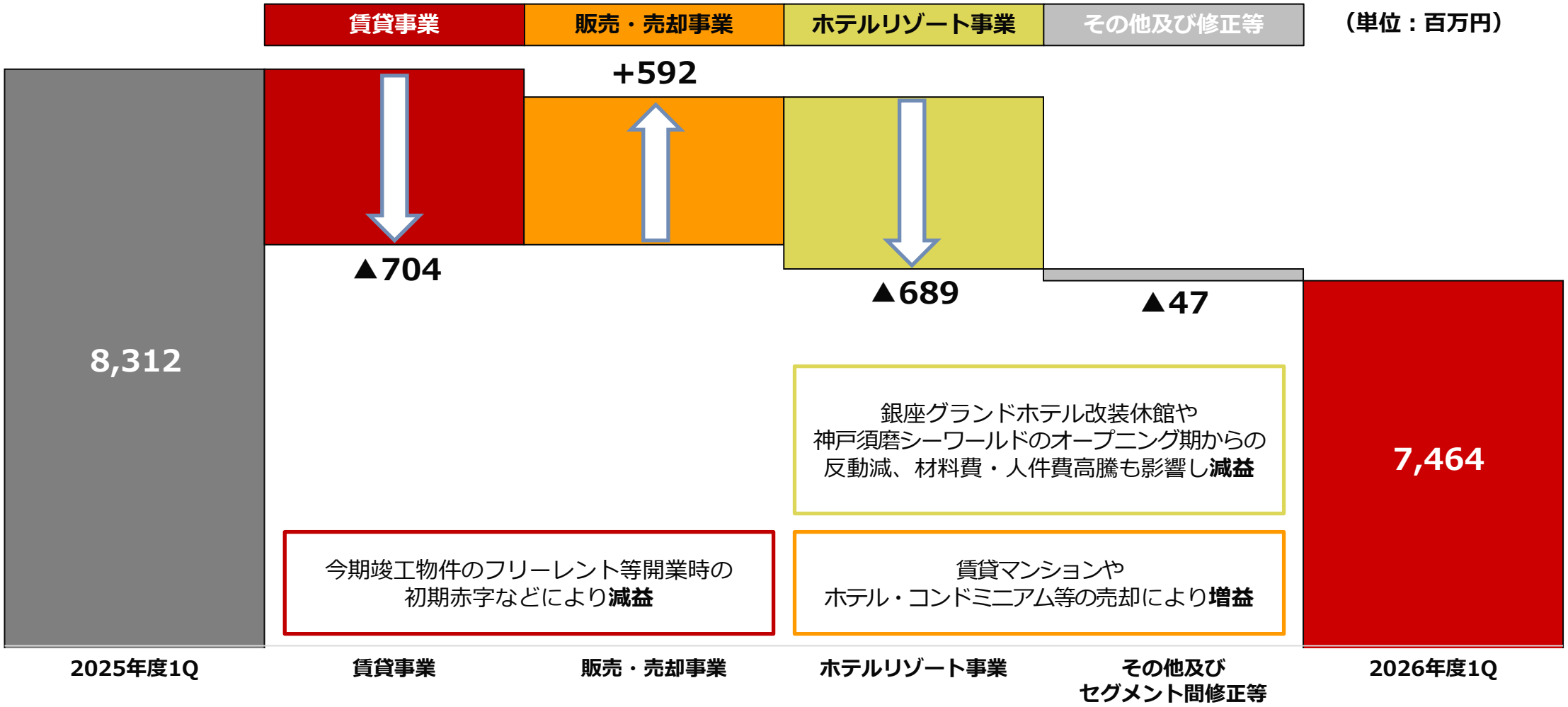
（FMHとは連結対象が異なります）



© FUJI MEDIA HOLDINGS, INC. All Rights Reserved.

サンケイビルグループ連結事業別 営業利益と増減要因

（FMHとは連結対象が異なります）



© FUJI MEDIA HOLDINGS, INC. All Rights Reserved.

目次

1 2027年3月期　第1四半期　決算概要

2 **2027年3月期　通期業績予想**

3 株主への対応・利益還元

4 サステナビリティの取り組み

5 参考資料

© FUJI MEDIA HOLDINGS, INC. All Rights Reserved.

2027年3月期通期 連結業績予想（修正なし）

（単位：百万円）

	2026年3月期 通期実績	2027年3月期 通期予想	対前期増減	
売上高	551,865	625,700	73,834	13.4%
営業損益	▲8,766	40,100	48,866	—
経常損益	▲2,807	38,300	41,107	—
親会社株主に帰属する当期純損益	6,499	26,100	19,600	301.6%

【フジテレビ】広告収入の2027年3月通期見込み（修正なし）

	2026年3月期 実績	2027年3月期 予想	対前期増減	
ネットタイム	34,366	56,500	22,133	64.4%
ローカルタイム	6,143	7,500	1,356	22.1%
スポット	43,543	66,000	22,456	51.6%
放送収入合計	84,053	130,000	45,946	54.7%

現在、都市開発・観光事業への外部資本導入の検討を進めておりますが、外部資本導入の手法、時期、規模等が未定であることから、業績予想は都市開発・観光事業への外部資本の導入は前提としておりません。開示すべき重要な事項が発生した場合には、適時適切に開示してまいります。

© FUJI MEDIA HOLDINGS, INC. All Rights Reserved.

セグメント別業績予想（修正なし）

（単位：百万円）

		事業セグメント			合計	調整額	連結損益計算書計上額
		メディア・コンテンツ事業	都市開発・観光事業	その他事業			
売上高	2027年3月期 通期予想	**406,700**	**209,900**	**25,500**	**642,100**	**▲16,400**	**625,700**
	2026年3月期 通期実績	350,889	193,495	26,681	571,065	▲19,200	551,865
	増減率	15.9%	8.5%	▲4.4%	12.4%	—	13.4%
営業利益	2027年3月期 通期予想	**20,000**	**22,400**	**1,000**	**43,400**	**▲3,300**	**40,100**
	2026年3月期 通期実績	▲30,835	25,185	1,424	▲4,225	▲4,540	▲8,766
	増減率	—	▲11.1%	▲29.8%	—	—	—

© FUJI MEDIA HOLDINGS, INC. All Rights Reserved.

設備投資計画と減価償却費（計画変更なし）

（単位：百万円）

		2027年3月期		2028年3月期
		1Q（実績）	通期（計画）	通期（計画）
設備投資額	連　結	29,373	98,500	100,000
	フジテレビ	678	7,500	7,000
	都市開発・観光事業	27,716	86,000	86,000
	フジ・メディアＨＤ	318	1,000	2,500
減価償却費	連　結	4,515	19,000	19,500
	フジテレビ	667	3,500	4,000
	都市開発・観光事業	2,456	10,000	10,500
	フジ・メディアＨＤ	471	1,900	2,000

© FUJI MEDIA HOLDINGS, INC. All Rights Reserved.

メディア・コンテンツ事業 今後のトピックス

ポニーキャニオン　アニメ×音楽のグローバル展開強化によるヒット創出

■ 方向性
作品価値を最大化し、強固な利益体質を実現する投資戦略と組織体制を構築

■ 投資戦略
- 音源、ライブ、グッズなどの多面展開による顧客生涯価値の向上
- 新規アーティスト開発とファンダム形成の強化
- 投資プロセス改善によるアニメ映像作品の収益性向上

■ 組織体制
外部環境の変化への対応と次代に向けた体制の構築を目的に、7月1日付で音楽部門とアニメ映像部門に分けた社内カンパニー組織への改編を実施

■ 海外展開
- アニメの音楽タイアップを活用したグローバルヒットソングの創出
- 世界中の主要アニメコンベンションを活用した独自の海外プロモーション推進

©和久井健・講談社／
アニメ「東京リベンジャーズ」製作委員会

dinos　商品開発の見直しと新たな販売戦略による持続的な成長モデルの推進

■ 方向性
消費者の購買行動の変化に順応するため、商品開発基準の見直しとマルチチャネルへの投下資源の再配分を実施

■ 事業戦略
創業55周年企画「dinos EXPO」を開催
特別な商品・企画を通じて、お客様との信頼関係の構築とブランド価値向上を企図

■ 商品開発
- 創業55周年記念コラボアイテムやサステナブルな商品の開発

MEYER ふた付きエッグパン
+プレス特別セット
«ガチャピン・ムックVer»

■販売戦略
- 組織コミュニケーションを見直しお客様への提供価値最大化を促進
- 商品特性に応じた販売チャネルやプロモーションを組み合わせ、購入層を拡大
- 子会社吸収によるリテンション機能強化
- 家具レンタルサービス「flect」「flect Biz」のシェア拡大

© FUJI MEDIA HOLDINGS, INC. All Rights Reserved.

アニメ・マンガ 今後のトピックス

フジテレビ

■7月期アニメ放送・配信

レギュラー枠	放送時間	7月期ラインアップ
水曜（＋Ultra ）	24:45	サンダー3（5局）
水曜（B8station）	25:15	盗掘王（5局）
木曜	25:45	帰還者の魔法は特別です 第一期 （2局）
金曜（ノイタミナ）	23:30	逃げ上手の若君　第二期　（全国ネット）
土曜	5:22	ぼのぼの　（関東ローカル）
日曜	6:15	ぱちぱちるんるん　（10局）
	9:00	DIGIMON BEATBREAK　（24局）
	9:30	テレビアニメ「鬼滅の刃」シリーズ全編再放送　（27局）
	18:00	ちびまる子ちゃん　（全国ネット）
	18:30	サザエさん　（全国ネット）
	23:15	ワンピース　（全国ネット）
めざましテレビ		紙兎ロペ　（全国ネット）　:毎日
		ちいかわ　（全国ネット）　:火曜　金曜
		パペットスンスン（全国ネット）　:水曜

©橘オレコ／小学館／
アニメ「ホタルの嫁入り」製作委員会

『ホタルの嫁入り』

原作は、累計発行部数が450万部を突破し、
「電子コミック大賞2024」大賞に輝いた大人気漫画。

制作はデイヴィッドプロダクション。
監督は『うる星やつら』を手がけた亀井隆広、
キャラクターデザインは『四月は君の嘘』の愛敬由紀子、
シリーズ構成は『はたらく細胞』の柿原優子が
それぞれ務めるなど、実力派クリエイター陣が集結。

今年10月より、フジテレビ系“ノイタミナ”にて放送。

デイヴィッドプロダクション

©LUCKY LAND COMMUNICATIONS/
集英社・ジョジョの奇妙な冒険SBR製作委員会

『スティール・ボール・ラン　ジョジョの奇妙な冒険』

シリーズ累計発行部数1億2,000万部を超える世界的人気作品
『ジョジョの奇妙な冒険』。

その第7部『スティール・ボール・ラン ジョジョの奇妙な冒険』の
Netflix世界独占先行配信がスタートし、大きな反響を呼んでいる。
2026年3月の「1st STAGE」（全1話）配信に続き、
9月25日からは待望の「2nd & 3rd STAGE」（全11話）が
毎週金曜日に配信予定。

アニメシリーズは第1部から一貫してデイヴィッドプロダクション
が制作を担当し、国内外で高い評価を獲得。
第1話配信後は米国のNetflix視聴ランキングで最高2位を記録する
など世界的な注目を集めている。

ポニーキャニオン

©漆原侑来(秋田書店)／桃源暗鬼製作委員会

『桃源暗鬼』

累計発行部数600万部を突破した
大ヒット漫画『桃源暗鬼』。

漆原侑来氏が「週刊少年チャンピオン」で連載中の本作は、
昔話「桃太郎」を大胆に再解釈し、鬼と桃太郎、
それぞれの血を引く者たちの宿命の戦いを描く
新世代ダークヒーロー鬼譚。

2026年10月から日本テレビ系「フラアニ」枠で
第二期～日光・華厳の滝編～が放送予定。

© FUJI MEDIA HOLDINGS, INC. All Rights Reserved.

フジテレビ 今後のトピックス

IP開発・獲得

■外部IPパートナーシップ強化

映画　デジタル　アニメ　海外番販

外部パートナーと次世代を担うIP・コンテンツの共創を推進。合わせて、クリエイターをAIでサポートしながらIP開発を進める。

・AI音声プロジェクト「そよぎフラクタル」
音声AI事業を行うFRACTAL社と共創し、AI音声プロジェクト「そよぎフラクタル」を推進。
「梵そよぎ」をはじめとするAIキャラクターの活用や、AI音声技術を活用した新たなコンテンツ開発など、クリエイティブとAIの共生の取り組みを加速する。

©FRACTAL Inc.

■フランチャイズIP活用

映画　デジタル　MD　ビデオ

オリジナルIP開発とフランチャイズIP多面展開を両輪で行い、IP価値最大化を狙う。

・「踊る大捜査線 N.E.W. メトロポリスを駆け抜けろ！」劇場公開
フジテレビのオリジナルIPである「踊る大捜査線」新作映画劇場公開（9月）に合わせ、書籍・グッズ・過去作品のBlu-ray販売、FOD・地上波一挙放送等、バリューチェーン全体でIPを最大展開する。
オリジナルIPを多面展開するフランチャイズ戦略で、LTVを最大化へ。

©2026 フジテレビジョン
BSフジ ビー・エー・シー

制作・ディストリビューション強化

■スポーツコンテンツ価値最大化に向けたプラットフォーム戦略

CS放送　デジタル

地上波・FOD・CSなど多様なプラットフォーム展開で、“スポーツIP”の価値最大化へ。

・「FIFAワールドカップ2026」
全10試合を地上波で生中継。
地上波タイムテーブルを活用して中継を盛り上げ、圧倒的なリーチカで日本中に熱狂を届けた。

・「F1」「バレーボールアジア選手権」
2026年より5年間の独占放送・配信権を獲得している「Formula 1®」では地上波・FOD・CS中継、9月開催「バレーボールアジア選手権」では地上波独占中継に加え、FOD・CS中継を実施。
熱量高いコンテンツを多様なオウンドプラットフォーム戦略に基づき、深く届ける。

■グローバル展開のさらなる加速

デジタル　海外番販

パートナー共同プロジェクト展開を積極的に推進。既存IPの海外展開も加速させる。

・海外パートナーIPリメイク開発
中国Linmon Pictures製作ドラマのリメイク権を獲得し、7月期水10ドラマ「Tokyo middle 30」を制作・放送。

© Fuji Television, MakerVille, SIMSTORY

・自社オリジナルIP共同製作
香港・韓国の出資社と共同製作する10月期放送ドラマ「KiDnap GAME」を皮切りに、グローバル市場におけるフジテレビブランドの浸透を目指す。

IP多角展開

■IPエコシステムで価値最大化へ

催物　映画　デジタル　MD　アニメ

総合メディアカを活かしたIP独自育成エコシステムで、IPのさらなる拡散・拡大・熱量向上を狙う。

・「ちいかわ」「パペットスンスン」におけるバリューチェーン展開
「めざましテレビ」でアニメ放送中の「ちいかわ」は、初の劇場映画『映画ちいかわ 人魚の島のひみつ』が全国公開中。公開を記念した映画グッズ展開や、リアルイベント「お台場ファンライジング」内での体験コンテンツ「ちいかわおばけの森」など、多面展開を加速させる。
同じくめざましで放送中の「パペットスンスン」も、様々な企業とのコラボや、グッズのポップアップストア全国巡回を予定している。

©ナガノ
/ 2026「映画ちいかわ」製作委員会

©PUPPET SUNSUN/PS committee

■ライブエンタテインメントの拡充

催物　MD　アニメ

IPの熱を高め価値を拡張する共創の場を創出し、”ファンダム”形成を目指す。

・フジテレビIPとリアル体験を組み合わせたイベント
「お台場ファンライジング」「めざましWANGANフェス」を今夏開催。
「新しいカギ」内コンテンツ「学校かくれんぼ」をイメージしたゲームや、『めざましテレビ』と『千鳥の鬼レンチャン』、『ぽかぽか』などがコラボし、音楽・笑い・トークライブなど、共創の場を創り出す。

・世界最高峰のサーカス・エンタテインメント集団シルク・ドゥ・ソレイユを招聘し、2027年2月より東京、大阪で上演。圧倒的な没入型体験の場を提供する。

© FUJI MEDIA HOLDINGS, INC. All Rights Reserved.

都市開発・観光事業　今後のトピックス

賃貸事業

オフィス・住宅

S-LINKS 北新宿

■S-LINKS 北新宿
2026年3月竣工
店舗やラウンジなど多様な機能を備えた
都市型総合開発プロジェクト

ルフォンプログレ
高田馬場ノース

■ルフォンプログレ高田馬場ノース
105戸：2026年5月竣工

物流施設

SANKEILOGI戸田

■SANKEILOGI戸田
2026年5月竣工　物流事業 戸田南IC至近
首都高速×外環自動車道の都心配送拠点
人口集積エリアに立地
敷地面積：4,732.24㎡（1,431 坪）
延床面積：10,413.30㎡（3,150 坪）

ホテルリゾート事業

BLISSTIA SUITES & RESORT 沖縄恩納村

■BLISSTIA SUITES & RESORT 沖縄恩納村
2026年7月15日開業
別荘として利用しながら、
利用しない期間に客室を提供し賃料収入も可能
全139室の分譲ホテルコンドミニアム

■ホリデイ・イン エクスプレス札幌すすきの
サンケイビル、三菱商事都市開発、東京建物、
IHGが2026年7月17日に開業した全223室のホテル
観光・ビジネスに優れたアクセス

■表参道駅直結複合施設開発に着手
サンケイビル、東京メトロによる開発事業
表参道駅直結で商業施設・ホテル等からなる
複合施設の開発に着手
2032年度の竣工を目指し事業推進

© FUJI MEDIA HOLDINGS, INC. All Rights Reserved.

AIの活用／DXの推進

AI

■「AI実験バラエティ シンギュラ」が第52回放送文化基金賞のエンターテインメント部門の優秀賞を受賞

人間とAIの相乗効果で、新たな笑いを創り出したことにより受賞。「脳内大喜利」では、AIを人間と競わせるのではなく、創作を楽しむ道具として使って芸人たちの未知の才能を引き出すことに成功。AI活用の新たなステージを切り拓いた。

https://www.hbf.or.jp/awards/gallery/18208

■「動画生成AIラッパーアプリ」のPoC開始

制作スタッフが自ら静止画・動画を容易に作成できる「動画生成AIラッパー」のPoCを開始。
画像・動画生成AIの各種モデルを一元管理し、生成AI利用時のガバナンスと利便性の向上、ノウハウの共有を図る。

■フジテレビ「AI利活用ポリシー」リリース

各種事業活動にAIを利活用することで、さらに質の高いコンテンツ・サービス・商品の創造を目指しており、
これを実現するうえで「AI利活用ポリシー」を定め、遵守していくことを宣言した。

https://www.fujitv.co.jp/company/aipolicy/index.html

■FNS系列局のAIリテラシー向上施策

FNS系列全体で安全にAIコンテンツ制作や業務利用を推進するべく「FNS系列局向け AI利活用ガイドライン」を作成し、配布。また、本ガイドラインの定着も視野に系列局を直接訪問し、勉強会を実施。

DX

■「タイムCMの設定作業　DX検証」

タイムCM割付作業は、OCR・RPAで効率化を進めてきたが、現在は当初ほどの効果が得られていない。
そこで、AI-OCRと営放（営業放送システム）のデータ連携トライアルを推進中。
計画どおり進めば、年間約6,000時間の工数削減を見込む。

© FUJI MEDIA HOLDINGS, INC. All Rights Reserved.

目次

1 2027年3月期　第1四半期　決算概要

2 2027年3月期　通期業績予想

3 **株主への対応・利益還元**

4 サステナビリティの取り組み

5 参考資料

© FUJI MEDIA HOLDINGS, INC. All Rights Reserved.

株主・投資家の皆様との対話

■株主・投資家の皆様との対話の考え方

□当社は、企業価値ひいては株主共同の利益を確保し、向上させる観点から、
株主・投資家の皆様をはじめとするステークホルダーの皆様との対話を重視しております

株主総会、決算説明会、個別面談等を通じていただいた貴重なご意見は、経営方針等に反映し、
改革アクションプランの実践やそのアップデート等を通じて、成果に結びつくように努めております

□株主・投資家の皆様との対話の内容は、随時、経営陣に報告し、取締役会でも共有しています

■2026年4月～6月の株主・投資家との対話

□面談社数：61社

□面談件数：49件（内SR面談の15件は、いずれもマネジメントが出席）

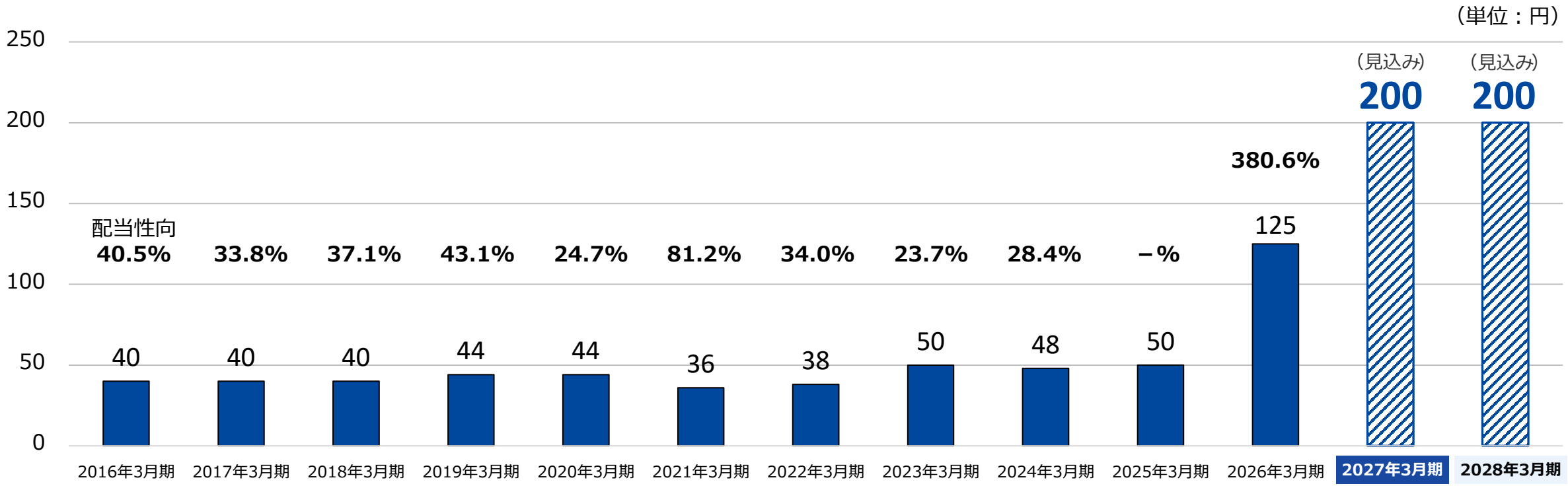
© FUJI MEDIA HOLDINGS, INC. All Rights Reserved.

資本政策・利益還元：配当

方針

■ **2026年3月期　年間配当125円（うち中間配当金25円）【実績】**
■ **2027年3月期及び2028年3月期　年間配当200円【見込み】**

フジテレビの広告収入が回復する等業績の改善が進んでいること、今後の都市開発・観光事業への外部資本導入などよる財務余力が生じる見込みであること、加えて、ＲＯＥの向上に資すること等を総合的に検討し、自己資本の抑制に資する配当の大幅な拡充が適切であると判断



※2019年3月期の年間配当には、普通配当40円以外に認定放送持株会社移行10周年及び（株）フジテレビジョン開局60周年記念配当4円を含む
　2023年3月期の年間配当には、普通配当40円以外に認定放送持株会社移行15周年及び（株）フジテレビジョン開局65周年記念配当10円を含む

※当社は2009年3月期より、放送法の規定により議決権割合20%以上となり株主名簿への記載を拒否する外国人に対しても、配当の支払いを実施

© FUJI MEDIA HOLDINGS, INC. All Rights Reserved.

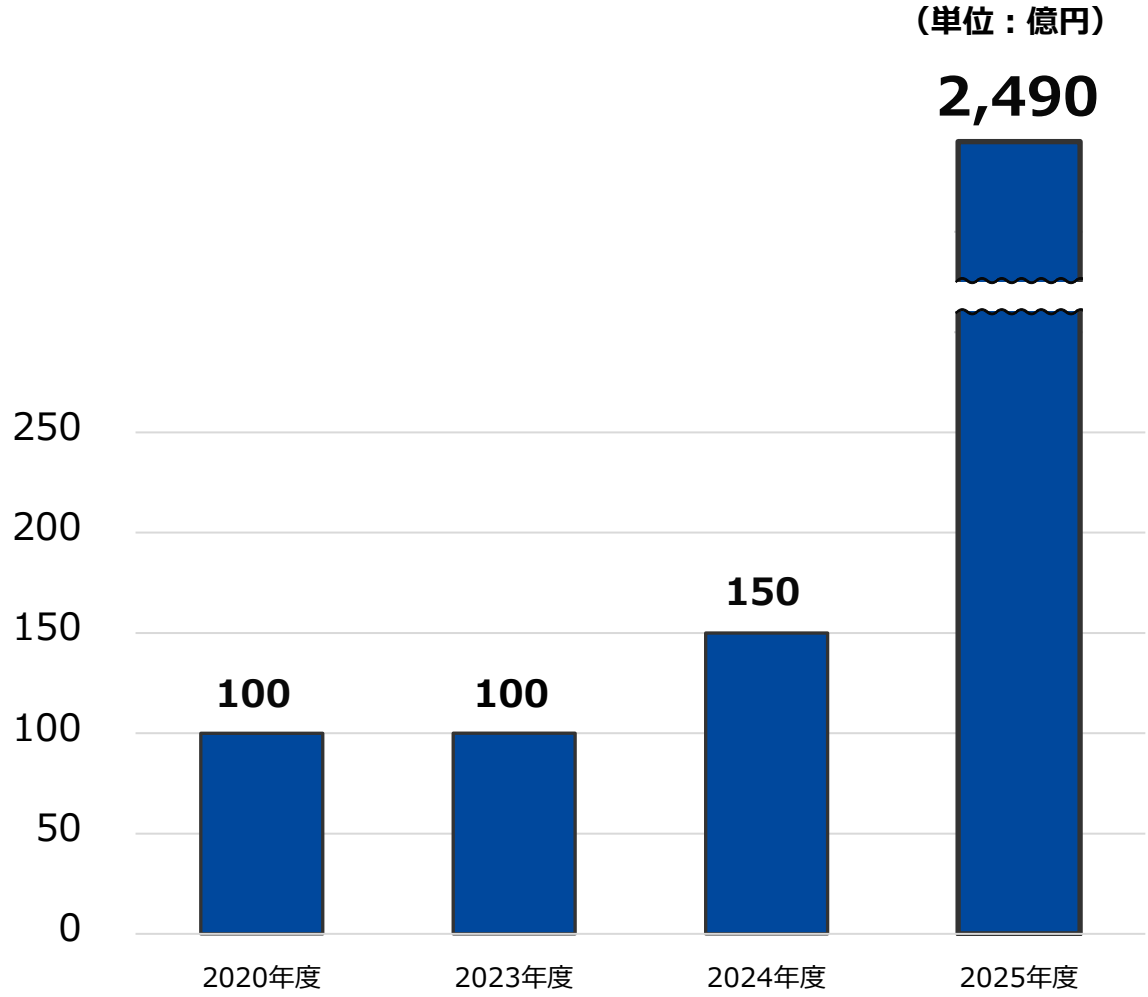
資本政策・利益還元：自己株式取得

■自己株式取得の考え方

機動的な自己株式取得等の資本政策により
資本収益性の向上を図るべく、
自己株式取得の継続的な実施を検討

■実績と今後の方針

・2020年度、2023年度および2024年度で
合計350億円の自己株式取得を実施
・「改革アクションプラン」に基づき、
2025年度に2,490億円の自己株式を取得
・今後も資本効率を最大化させるべく、
成長投資と株主還元のバランスを取りつつ、
自己資本を適切な水準に維持する方針



© FUJI MEDIA HOLDINGS, INC. All Rights Reserved.

目次

1 2027年3月期　第1四半期　決算概要

2 2027年3月期　通期業績予想

3 株主への対応・利益還元

4 **サステナビリティの取り組み**

5 参考資料

© FUJI MEDIA HOLDINGS, INC. All Rights Reserved.

FMH　サステナビリティの取り組み

FMH

【ガバナンス】

■リスクマネジメント体制の高度化

リスクポリシー委員会が策定し、2025年1月に運用を開始した「リスクレジスター制」に基づく新たなリスク管理体制のグループ各社への推進に努めた。FMHグループに重大な影響を及ぼす可能性のある事象に迅速かつ適切に対応するため、危機発生時のエスカレーション体制周知徹底と各社リスク担当者からFMH担当者への詳細報告の義務化を推進した。
また、グループ各社を対象にアンケート調査を実施し、相談窓口の設置・認知状況、リスク管理規程・コンプライアンス規程の整備状況、ならびに関連法令への対応状況等の現状を把握した。
これらの結果を踏まえ、グループ全体のリスク管理の実効性向上および役職員への浸透策について議論を行い、ガバナンス体制の強化を進めた。

FMH

【人権】

■人権尊重の取り組み

グループ人権委員会を開催し、「ビジネスと人権」を重要な経営課題として位置付ける認識をグループ各社で共有した。
委員会では他社事例を踏まえた議論を行うとともに、経営トップが一貫して人権尊重の姿勢を示し続ける重要性を確認した。
また、グループ各社における認知状況の確認および人権方針・相談窓口の再周知を要請。
先んじてフジテレビでは追加周知のフォローアップを実施し回答率100%を達成。
回答者全員が「理解した」と回答した。

© FUJI MEDIA HOLDINGS, INC. All Rights Reserved.

フジテレビ　人権ロードマップに基づく主な取り組み

A. 人権尊重の企業方針・経営システムへの組み込み

A-① 人権方針の担当部署への浸透の取り組み強化

・制作会社・業界団体・芸能事務所など６社と実施した人権ＤＤ対話について担当部局フィードバック実施・改善策を協議
・事案から一年の機会に、職場環境などについてアナウンサーへのアンケート・個別面談を実施
担当したサステナビリティ部局よりアナウンス局へフィードバック

A-② サステナビリティ経営委員会及び人権PJ等の各分科会等を通じた部署横断的な取り組みの継続

・サステナビリティ経営委員会外部アドバイザリーボード開催
・人権プロジェクト全体会議
・人的資本経営プロジェクト全体会議
・リブランディングプロジェクトによる 新理念体系を公表
・ジェンダー学習プログラム主催者からのフィードバック

A-④ サステナビリティ行動規範の内容についてバリューチェーン上のビジネスパートナーへの周知拡大

・障害当事者の立場から提案を行うコンサルティング会社と対話
・スポンサー企業との対話を実施

A-⑥ 人権への取り組みに関する全社浸透策（研修、対話等）の継続

・全役職員向け「秘密度ラベル」研修開始
・イベント事業局社員・スタッフ向けハラスメント研修
・経営企画局・テックアートデザイン局「グループビジョン実行を支える傾聴と対話」研修実施
・報道局「安心安全の取材心得について研修会」実施

B. 人権リスクの特定・評価と対処、モニタリング、開示

B-① 対話に基づく人権リスク特定/評価/対処/モニタリング/開示/リスクマップ見直し

・障害当事者の立場から提案を行うコンサルティング会社との対話
・報道局長による中堅社員・スタッフ約80名との個別面談
・事案から一年の機会に、職場環境などについてアナウンサーへのアンケート・個別面談を実施
担当したサステナビリティ部局よりアナウンス局へフィードバック

C. 救済メカニズムの改善

C-① 国連指導原則に基づく対話を踏まえた救済窓口の実効性の継続的な検証

・情報漏洩事案やセクハラ事案に係る懲戒処分

詳細については、同日開示のサステナビリティ関連開示資料をご覧ください。

© FUJI MEDIA HOLDINGS, INC. All Rights Reserved.

目次

1 2027年3月期　第1四半期　決算概要

2 2027年3月期　通期業績予想

3 株主への対応・利益還元

4 サステナビリティの取り組み

5 **参考資料**

© FUJI MEDIA HOLDINGS, INC. All Rights Reserved.

財務業績推移

（金額単位：百万円）※1株当たり年間配当は円

	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期	2026年3月期
売上高	525,087	535,641	566,443	550,761	551,865
営業損益	33,338	31,401	33,519	18,293	▲8,766
親会社株主に帰属する当期純損益	24,879	46,855	37,082	▲20,134	6,499
売上高当期純損益率	4.7%	8.7%	6.5%	▲3.7%	1.2%
有利子負債	272,148	276,900	324,760	354,363	618,487
純資産	808,788	848,769	869,628	830,023	561,467
投下資本（有利子負債＋純資産）	1,080,937	1,125,670	1,194,389	1,184,387	1,179,955
総資産	1,335,991	1,382,646	1,448,833	1,440,296	1,464,728
政策保有株式（FMH）	236,808	227,445	216,356	220,727	182,235
対投下資本割合	21.91%	20.21%	18.11%	18.64%	15.44%
対純資産割合	29.28%	26.80%	24.88%	26.59%	32.46%
自己資本比率	59.7%	60.6%	59.2%	56.8%	37.3%
ROA	1.9%	3.4%	2.6%	▲ 1.4%	0.4%
ROE	3.2%	5.7%	4.4%	▲ 2.4%	1.0%
PER	10.5	5.7	11.7	—	121.6
PBR	0.33	0.32	0.50	0.65	1.04
1株あたり年間配当（円）	38	50	48	50	125
自己株式取得額 ※1	—	10,000	15,000	249,045	—
総還元性向 ※2	34.42%	45.39%	68.99%	—	304.6%

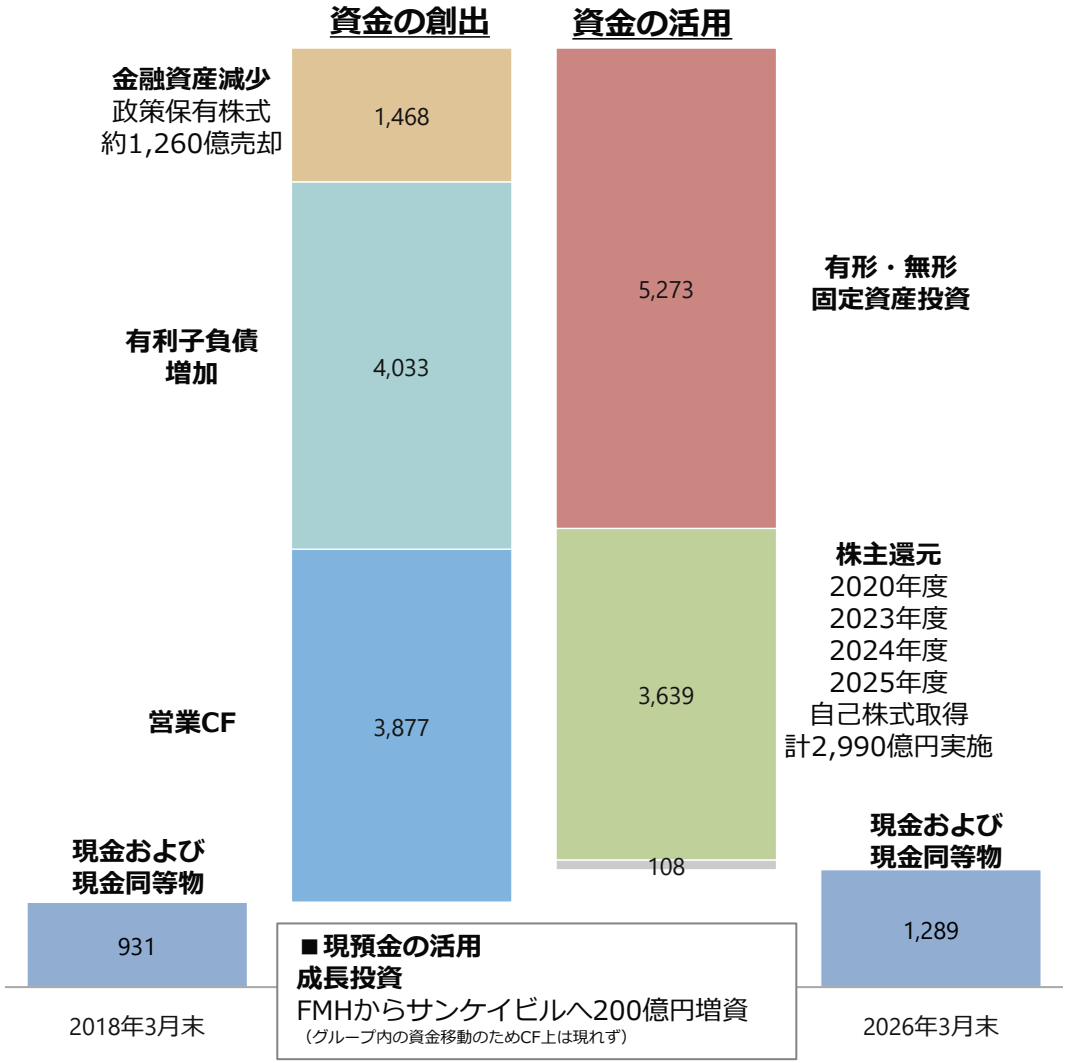
※1　自己株式取得時期　2024年3月期:　100億円
2025年3月期:　150億円
2026年3月期: 2,490億円

© FUJI MEDIA HOLDINGS, INC. All Rights Reserved.

※2　n年度の総還元性向（%）＝（n年度の年間配当総額）＋（n+1年度の自己株式取得額）／（n年度の親会社株主に帰属する当期純利益）×100

資金の活用状況と設備投資実績

■直近8年の資金の活用状況



■設備投資実績

（単位：億円）

	メディア・コンテンツ		都市開発		その他	
2019年3月期	本社ビル土地（底地）取得 放送機材の取得 スタジオ設備・ 物流関連設備の改修・更新	242	オフィスビル、ホテル及び シニア施設開発用地の取得	464	事務用機器などの リース資産の取得	6
2020年3月期	放送機材の取得 スタジオ設備の更新 中継車等のリース資産の取得	132	ホテル、オフィスビル及び シニア施設の取得	247	事務用機器などの リース資産の取得	5
2021年3月期	編集用設備の更新 放送機材の取得 スタジオ設備の更新	60	オフィスビル建設、賃貸物件 及びホテルの開発用地取得	359	事務用機器などの リース資産の取得	2
2022年3月期	スタジオ設備・ 放送用回線設備の更新 放送機材の取得	55	オフィスビル建設や 賃貸物件開発用地の取得	320	事務用機器などの リース資産の取得	2
2023年3月期	スタジオ設備の更新 放送機材の取得	57	オフィスビルや 賃貸レジデンス の開発用地等の取得	450	事務用機器などの リース資産の取得	5
2024年3月期	スタジオ設備の更新 放送機材の取得	68	オフィスビルや 賃貸レジデンス の開発用地等の取得	914	事務用機器などの リース資産の取得	3
2025年3月期	本社ビルの改修・更新 スタジオ設備の更新 放送機材の取得	85	オフィスビルや賃貸物件の 開発用地等の取得 海洋レジャー施設の設備投資	521	事務用機器などの リース資産の取得	10
2026年3月期	スタジオ設備の更新 放送機材の取得	52	オフィスビルや賃貸物件の 開発用地等の取得 海洋レジャー施設の設備投資	990	事務用機器などの リース資産の取得	3
合計		754		4,267		40

*有価証券報告書の「設備投資等の概要」等から引用した数値であり、
キャッシュフロー計算書上の有形・無形固定資産投資の数字とは異なる

© FUJI MEDIA HOLDINGS, INC. All Rights Reserved.

セグメント別 資産等

（単位：百万円）

		事業セグメント			合計	調整額	連結財務諸表計上額
		メディア・コンテンツ事業	都市開発・観光事業	その他事業			
営業損益	2026年度1Q	9,018	7,443	373	16,835	▲809	16,025
	2025年度1Q	▲20,396	8,366	349	▲11,680	▲1,099	▲12,779
	増　減	29,414	▲922	23	28,515	289	28,805
	増減（%）	—	▲11.0%	6.7%	—	—	—
資産	2026年度1Q末	453,000	691,643	25,361	1,170,006	284,152	1,454,158
	2025年度1Q末	442,803	640,363	24,452	1,107,619	333,297	1,440,916
	増　減	10,197	51,280	908	62,386	▲49,144	13,242
	増減（%）	2.3%	8.0%	3.7%	5.6%	—	0.9%

© FUJI MEDIA HOLDINGS, INC. All Rights Reserved.

セグメント情報（連結子会社）

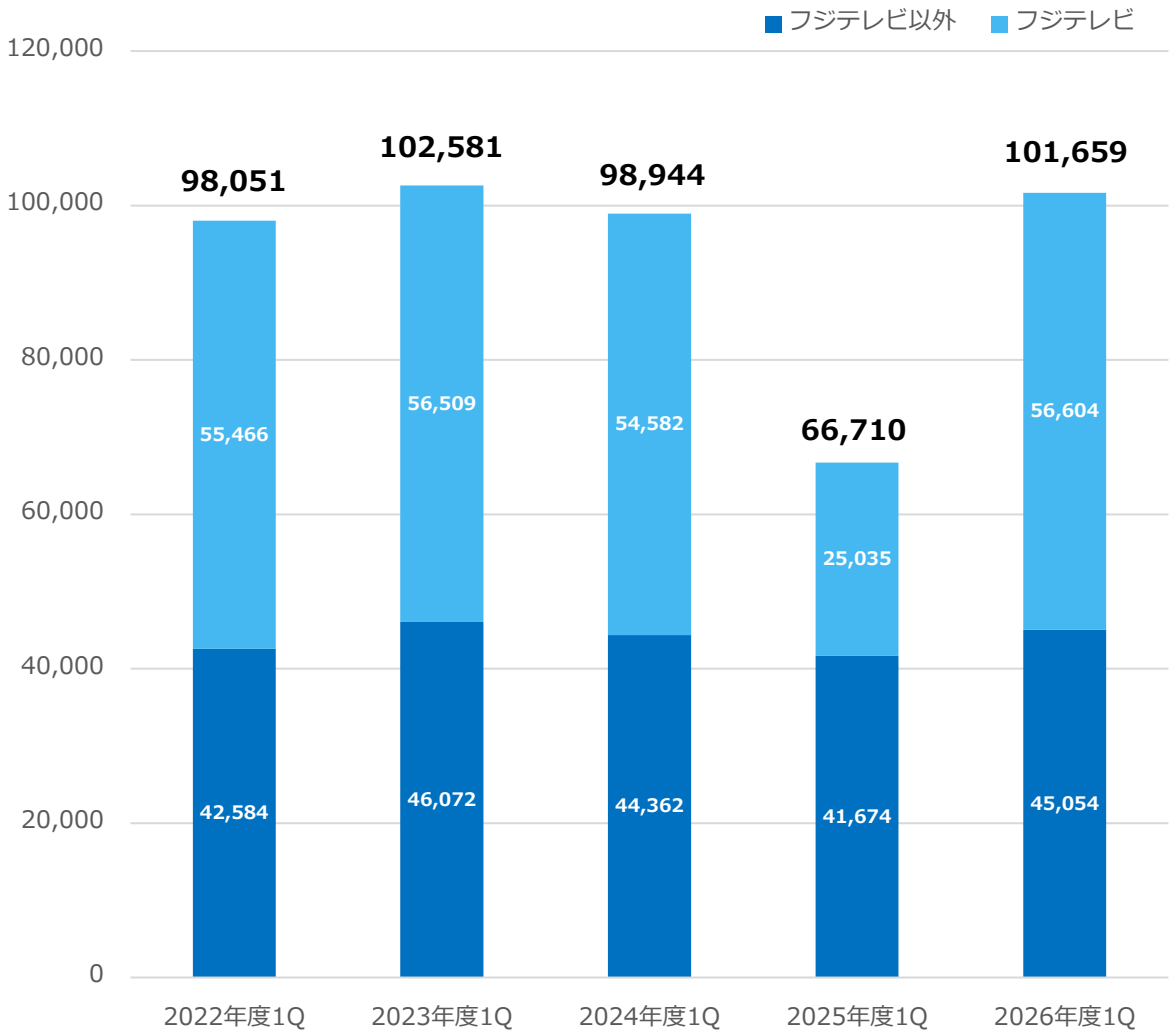
セグメント	会　社　名	会社数
メディア・コンテンツ	フジテレビジョン、ビーエスフジ、ニッポン放送、仙台放送、 フジクリエイティブコーポレーション、共同テレビジョン、ポニーキャニオン、 フジパシフィックミュージック、dinos、クオラス、扶桑社、NEXTEP、 フジアール、フジ・メディア・テクノロジー、共同エディット、バスク、バンエイト、 ベイシス、フジ・ミュージックパートナーズ、 シンコーミュージック・パブリッシャーズ、グレイプ、イミニ免疫薬粧、 フジ・コンシューマ・プロダクツ、 FUJI MUSIC GROUP, INC.、ARC/CONRAD MUSIC LLC	25社
都市開発・観光	サンケイビル、グランビスタ ホテル＆リゾート、 サンケイビルマネジメント、サンケイビルテクノ、サンケイビルウェルケア、 サンケイ会館、サンケイビル・アセットマネジメント、伸和サービス、 AGホテルマネジメント、 SKB USA LLC、Sankei Investor 1201,LLC、Sankei Investor 1090,LLC、 Sankei Investor 294, LLC	13社
その他	フジ・ネクステラ・ラボ、ニッポン放送プロジェクト、フジキャリアデザイン、 FUJISANKEI COMMUNICATIONS INTERNATIONAL, INC.	4社
合計		42社

© FUJI MEDIA HOLDINGS, INC. All Rights Reserved.

メディア・コンテンツ事業 業績推移

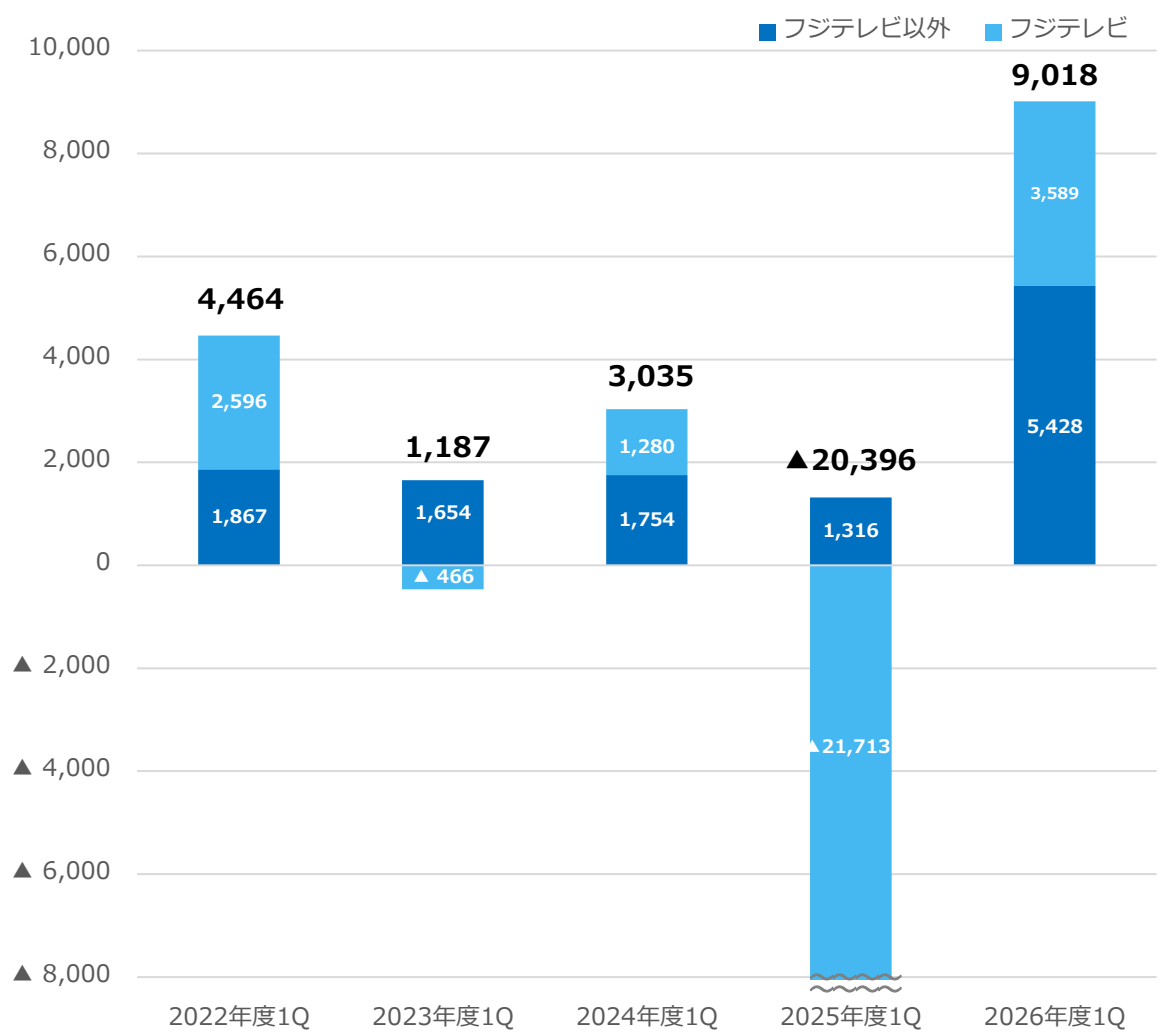
（単位：百万円）

売上高



※フジテレビ以外はセグメント売上とフジテレビ売上の差額。セグメント内調整を含む

営業損益

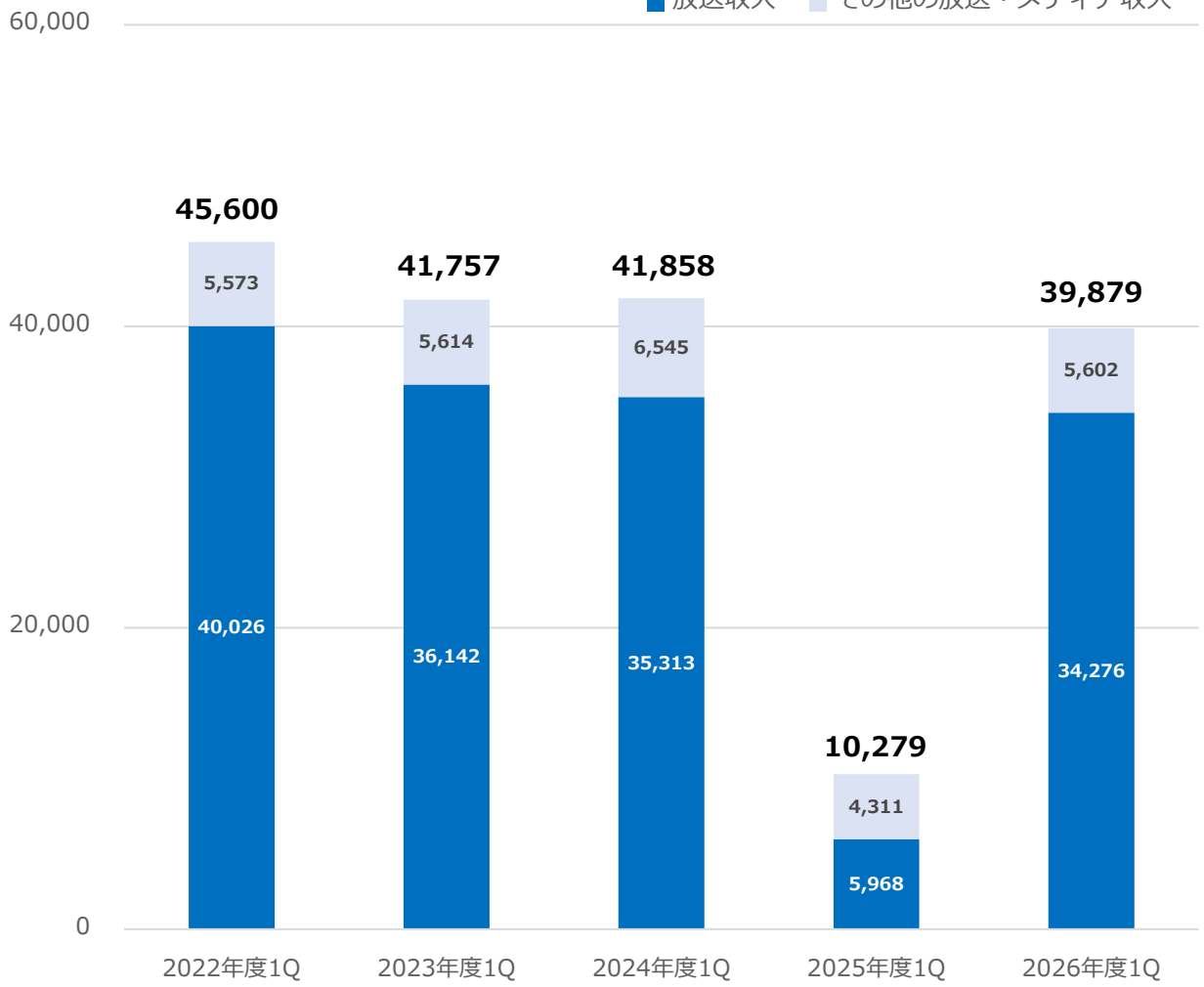


※フジテレビ以外はセグメント利益とフジテレビ営業利益の差額。セグメント内調整を含む

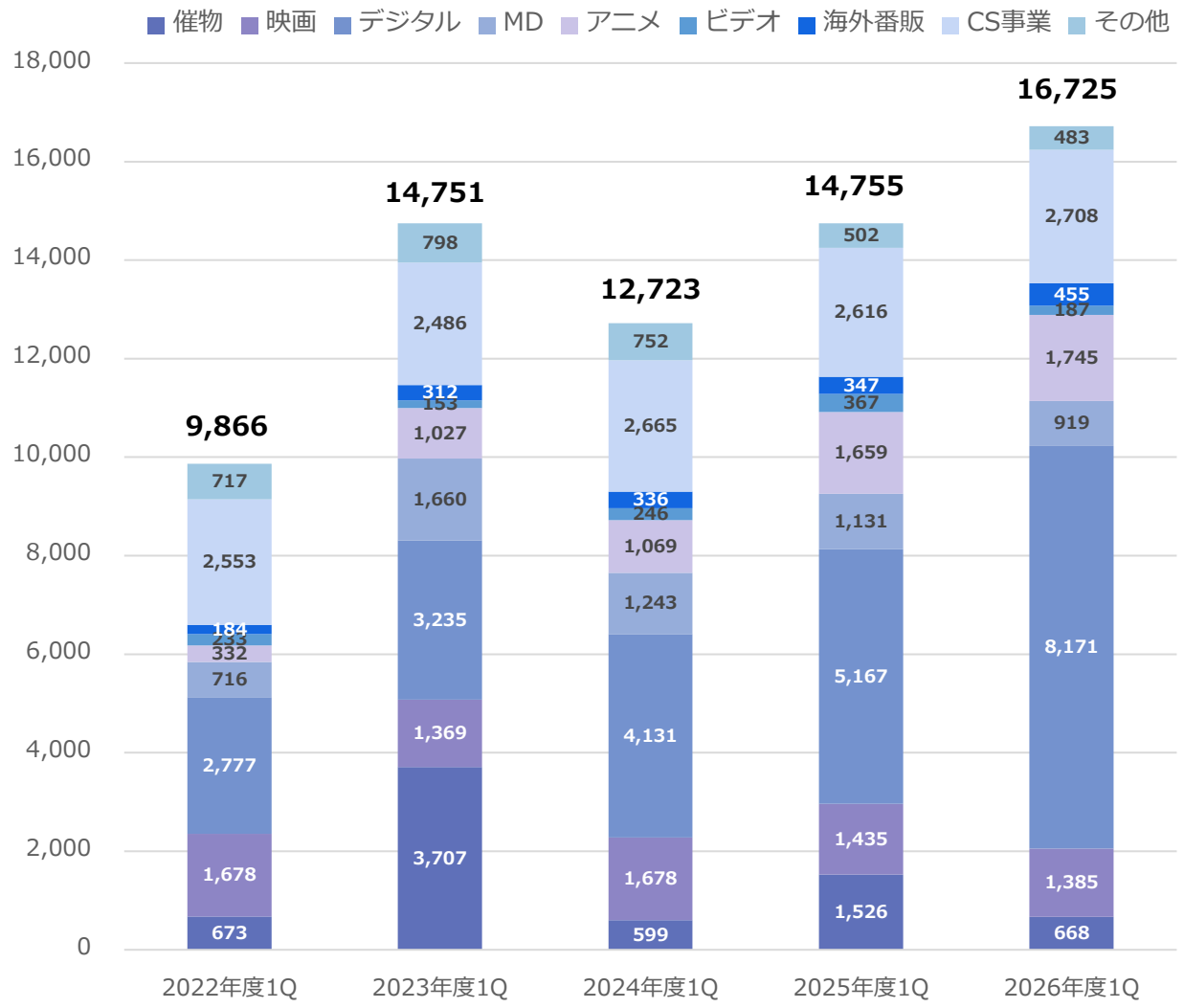
© FUJI MEDIA HOLDINGS, INC. All Rights Reserved.

フジテレビ 業績推移

■放送・メディア収入の売上内訳推移（単位：百万円）



■コンテンツ・ビジネス収入の売上内訳推移（単位：百万円）



© FUJI MEDIA HOLDINGS, INC. All Rights Reserved.

フジテレビ 放送・メディア　推移

■広告収入

（単位：百万円・%）

	2025年度					2026年度					対前期比増減					対前期比				
	タイム	内訳		スポット	合計	タイム	内訳		スポット	合計	タイム	内訳		スポット	合計	タイム	内訳		スポット	合計
		ネット	ローカル				ネット	ローカル				ネット	ローカル				ネット	ローカル		
1Q	3,558	2,740	818	2,409	5,968	16,735	14,962	1,773	17,541	34,276	+13,177	+12,222	+955	+15,131	+28,308	470.3%	545.9%	216.7%	728.0%	574.3%
2Q	6,585	5,195	1,390	6,532	13,118															
上期	10,144	7,935	2,208	8,941	19,086															
3Q	15,032	12,965	2,066	16,100	31,133															
4Q	15,332	13,464	1,867	18,500	33,833															
下期	30,365	26,430	3,934	34,601	64,966															
通期	40,509	34,366	6,143	43,543	84,053															

■視聴率

＊ビデオリサーチ調べ　・関東地区：ゴールデン：19時~22時　・プライム：19時~23時　・全日：6時~24時　・個人、個人全体：4歳以上　・コア、コアターゲット：13歳~49歳

（単位：%）

1Q (2026/3/30~2026/6/28)	ゴールデン		プライム		全日	
	個人	コア	個人	コア	個人	コア
フジテレビ	2.9	2.2	2.8	2.1	1.9	1.3
日本テレビ	5.0	3.7	4.6	3.4	3.3	2.1
テレビ朝日	5.0	1.6	5.1	1.8	3.4	1.0
TBSテレビ	4.1	3.0	3.9	2.9	2.5	1.4
テレビ東京	2.8	1.0	2.4	0.9	1.1	0.4

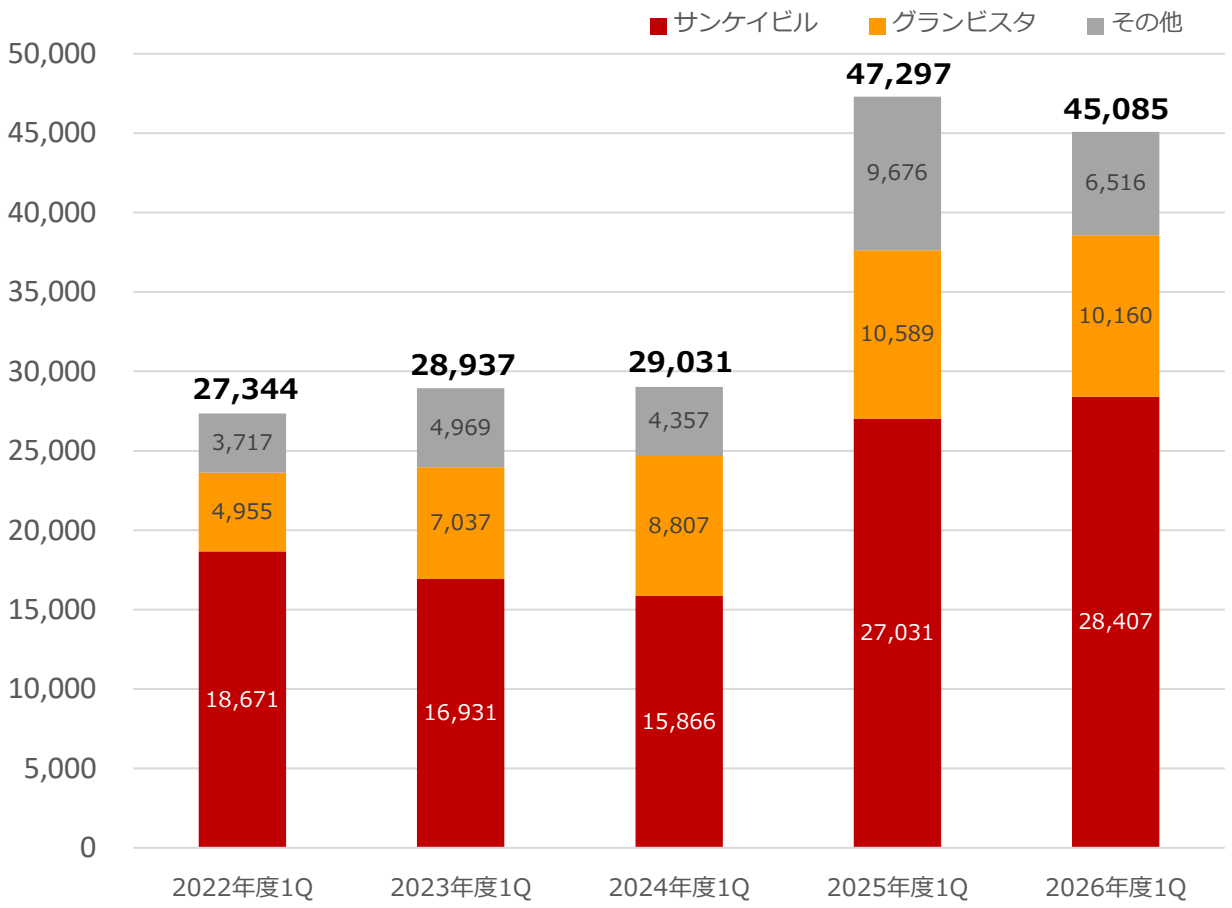
PUT	29.1	14.2	27.1	13.5	17.7	7.6

© FUJI MEDIA HOLDINGS, INC. All Rights Reserved.

都市開発・観光事業 業績推移

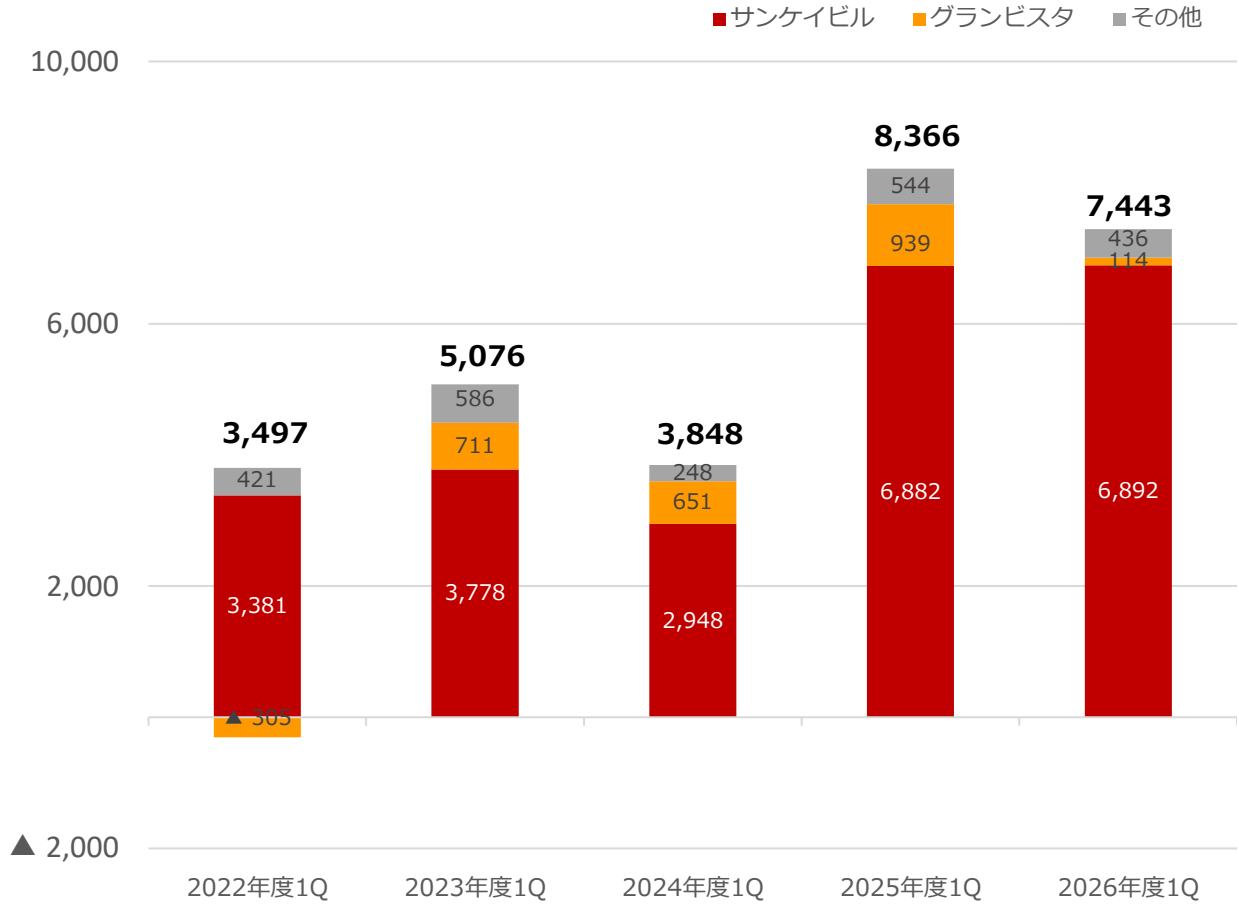
（単位：百万円）

売上高



※その他はセグメント売上とサンケイビルおよびグランビスタ売上との差額。セグメント内調整を含む

営業損益



※その他はセグメント利益とサンケイビルおよびグランビスタ営業利益との差額。セグメント内調整を含む

© FUJI MEDIA HOLDINGS, INC. All Rights Reserved.

サンケイビルグループ連結の主要事業業績（FMHとは連結対象が異なります）

■売上高

（単位：百万円）

	2025年度					2026年度					前期比
	賃貸事業	販売・売却事業	ﾎﾃﾙﾘｿﾞｰﾄ事業	その他修正等	合計	賃貸事業	販売・売却事業	ﾎﾃﾙﾘｿﾞｰﾄ事業	その他修正等	合計	合計
第１四半期	7,130	19,896	11,836	8,847	47,709	**6,940**	**21,473**	**11,741**	**5,891**	**46,046**	▲1,663
第２四半期	6,061	20,919	15,230	8,928	51,139						
上期	13,191	40,815	27,066	17,775	98,849						
第３四半期	7,224	13,737	12,254	7,798	41,014						
第４四半期	7,038	31,345	10,932	6,999	56,317						
下期	14,262	45,082	23,187	14,798	97,331						
通期	27,454	85,898	50,253	32,574	196,180						

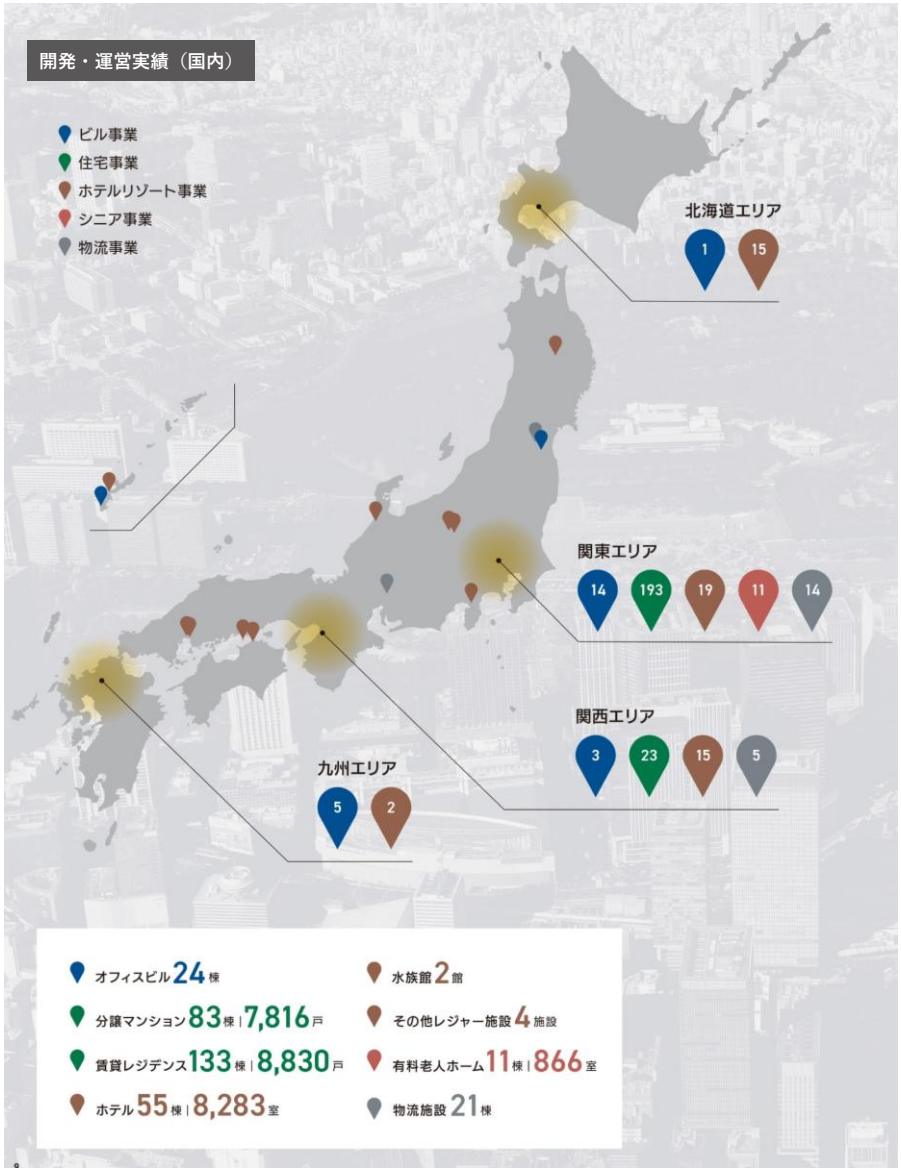
■営業利益

（単位：百万円）

	2025年度					2026年度					前期比
	賃貸事業	販売・売却事業	ﾎﾃﾙﾘｿﾞｰﾄ事業	その他修正等	合計	賃貸事業	販売・売却事業	ﾎﾃﾙﾘｿﾞｰﾄ事業	その他修正等	合計	合計
第１四半期	1,735	6,017	938	▲379	8,312	**1,031**	**6,609**	**249**	**▲426**	**7,464**	▲848
第２四半期	1,240	5,450	3,122	▲75	9,738						
上期	2,976	11,468	4,061	▲455	18,050						
第３四半期	1,667	1,376	704	703	4,452						
第４四半期	▲853	11,551	▲313	▲1,427	8,956						
下期	813	12,927	391	▲723	13,408						
通期	3,789	24,396	4,453	▲1,179	31,459						

© FUJI MEDIA HOLDINGS, INC. All Rights Reserved.

サンケイビルグループ 物件ポートフォリオ



（2025年6月30日時点）

オフィスビル事業

東京サンケイビル

所在地▶
東京都千代田区大手町

竣工▶
Ⅰ期2000年
Ⅱ期2002年

オフィスビル事業

ブリーゼタワー

所在地▶
大阪府大阪市北区梅田

竣工▶
2008年

住宅事業

ルフォン船堀
ザ・タワーレジデンス

所在地▶
東京都江戸川区船堀

竣工▶
2025年

ホテルリゾート事業

神戸須磨シーワールド・
神戸須磨シーワールドホテル

所在地▶
兵庫県神戸市須磨区若宮町

開業▶
2024年

シニア事業

ウェルケアヒルズ
馬事公苑

所在地▶
東京都世田谷区上用賀

開設▶
2019年

物流事業

SANKEILOGI
神戸北

所在地 ▶
兵庫県神戸市北区鹿の子台

竣工 ▶
2025年

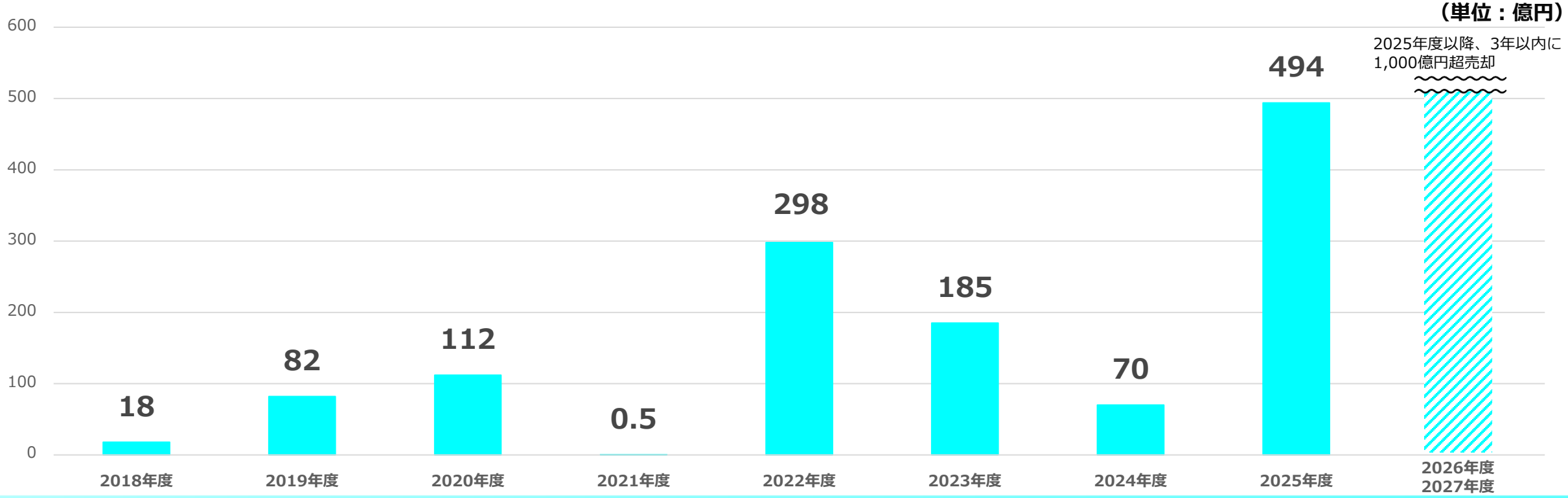
© FUJI MEDIA HOLDINGS, INC. All Rights Reserved.

政策保有株式の縮減

考え方

取締役会において、銘柄ごとに、当社グループとの取引関係や規模、
当該企業の業績や配当、株価などの定量的な側面も考慮の上、保有の合理性・必要性を検証
保有意義の希薄化が認められる銘柄等については、縮減の対象として検討
2025年度以降、3年以内に1,000億円超を売却し、さらなる縮減を目指す

2018年度から2025年度までに約1,260億円の縮減



© FUJI MEDIA HOLDINGS, INC. All Rights Reserved.

資本収益性関連数値（実績）

売上高当期純損益率（%）

2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
4.7%	8.7%	6.5%	▲3.7%	1.2%

総資産回転率（回）

2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
0.4	0.4	0.4	0.4	0.4

財務レバレッジ（倍）

2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
1.7	1.7	1.7	1.8	2.7

A：ROE（%）

2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
3.2%	5.7%	4.4%	▲2.4%	1.0%

×

B：PER（倍）

2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
10.5	5.7	11.7	—	121.6

時価総額（百万円）

2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
260,882	265,748	428,440	529,428	569,071

親会社株主に帰属する当期純損益（百万円）

2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
24,879	46,855	37,082	▲20,134	6,499

||

A×B＝C：PBR（倍）

2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
0.33	**0.32**	**0.50**	**0.65**	**1.04**

© FUJI MEDIA HOLDINGS, INC. All Rights Reserved.

本資料には当社及び当社の関係会社・出資先企業の見通し、
目標、予想数値等、将来に関する記述が含まれている場合があります。
実際の業績は今後の事業運営、経済情勢、金融市場その他の状況変化等
さまざまな要因により大きく異なる可能性があります。

フジ・メディア・ホールディングス

【HP】
https://www.fujimediahd.co.jp/

【統合報告書】
https://www.fujimediahd.co.jp/ir/integrated.html

© FUJI MEDIA HOLDINGS, INC. All Rights Reserved.